

令和 7 年 度

県 政 世 論 調 査

結 果 報 告 書

〈概要版〉

令和 7 年 1 1 月

福 島 県

目 次

	頁
I 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査実施概要	1
3. 調査項目	1
4. 回答者の構成	2
II 調査結果の解説	
1. 復興等に関する情報発信について	5
(1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報	5
(2) 復興状況や新しい取組に関する情報の入手先	6
(3) 福島県の広報活動についての満足度	7
(4) 福島県の現状について県外に伝えたいこと	9
2. 安全で安心な県づくりについて	10
(1) 地域の安全・安心についての評価	10
3. 福島県の総合計画について	12
(1) 福島県の現状についての評価	12
4. 福島イノベーション・コースト構想について	15
(1) 福島イノベーション・コースト構想について知っている取組	15
(2) 福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組	17
(3) 福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策	18
5. 県内のプロスポーツチームについて	19
(1) 県内のプロスポーツチームへの関心	19
(2) 試合を現地で観戦しない理由	20
(3) 試合を現地で観戦した理由	21
6. チャレンジふくしま県民運動について	22
(1) チャレンジふくしま県民運動の認知状況	22
(2) 心身の健康づくりの実践状況	23
(3) 心身の健康づくりを実践していない理由	24
(4) 心身の健康づくりの実践頻度	25
7. 自転車の安全利用について	26
(1) 自転車の利用頻度	26
(2) 自転車損害賠償保険の加入状況	27
(3) ヘルメットの着用状況	28
(4) ヘルメットを着用しない理由	29
(5) ヘルメットの着用の努力義務化の認知状況	30
(6) ヘルメットの着用の努力義務化の情報元	31

8. ユニバーサルデザインについて	32
(1) ユニバーサルデザインの認知状況	32
(2) 10 年前と比べた身近な施設や乗り物の使いやすさ	33
(3) ユニバーサルデザインの導入が必要だと考えるもの	34
(4) 高齢者等に対して気配りに取り組んだこと	35
9. 地域の医療について	36
(1) 体調不良時の対応	36
(2) かかりつけ医の有無	37
(3) 知っている医療関連サービス	38
(4) 保健や医療に関する情報の入手方法	39
(5) 保健や医療に関して知りたい情報	40
10. キャッシュレス決済の利用状況について	41
(1) キャッシュレス決済の利用状況	41
(2) 利用しているキャッシュレス決済について	42
(3) キャッシュレス決済を利用する理由	43
(4) キャッシュレス決済が利用できず購入をあきらめたことの有無	44
11. 農林水産業について	45
(1) 農林水産物の購入や食生活で実践していること	45
(2) 農山漁村の役割として期待すること	46
12. 地域社会の安全・安心（治安）について	47
(1) 居住地域の治安状況	47
(2) 治安状況が良いと思う理由	48
(3) 治安状況が悪いと思う理由	49
(4) 犯罪発生状況等の情報提供方法	50
(5) 犯罪に関して知りたい情報	51
(6) 警察に強化してほしい活動	52
(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪	53
(8) 身近に感じる不安	55

Ⅲ 調査票様式

Ⅳ 過去に実施した県政世論調査項目一覧

【本報告書利用にあたっての注意点】

1. 本文及び図表中の回答者の割合は百分比（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入してある。
したがって、四捨五入の結果、個々の比率の合計が100％にならないことがある。
また、複数回答の質問では、比率の合計は100％を超えることがある。
2. 図表中の「n」は回答者総数（該当者への質問の場合は該当者数）のことで、100％が何人に相当するかを示す、比率算出の基数である。

I 調査の概要

1. 調査の目的

県政の課題等について県民の意識やニーズを調査し、具体的な政策形成等の基礎的な資料とする。

2. 調査実施概要

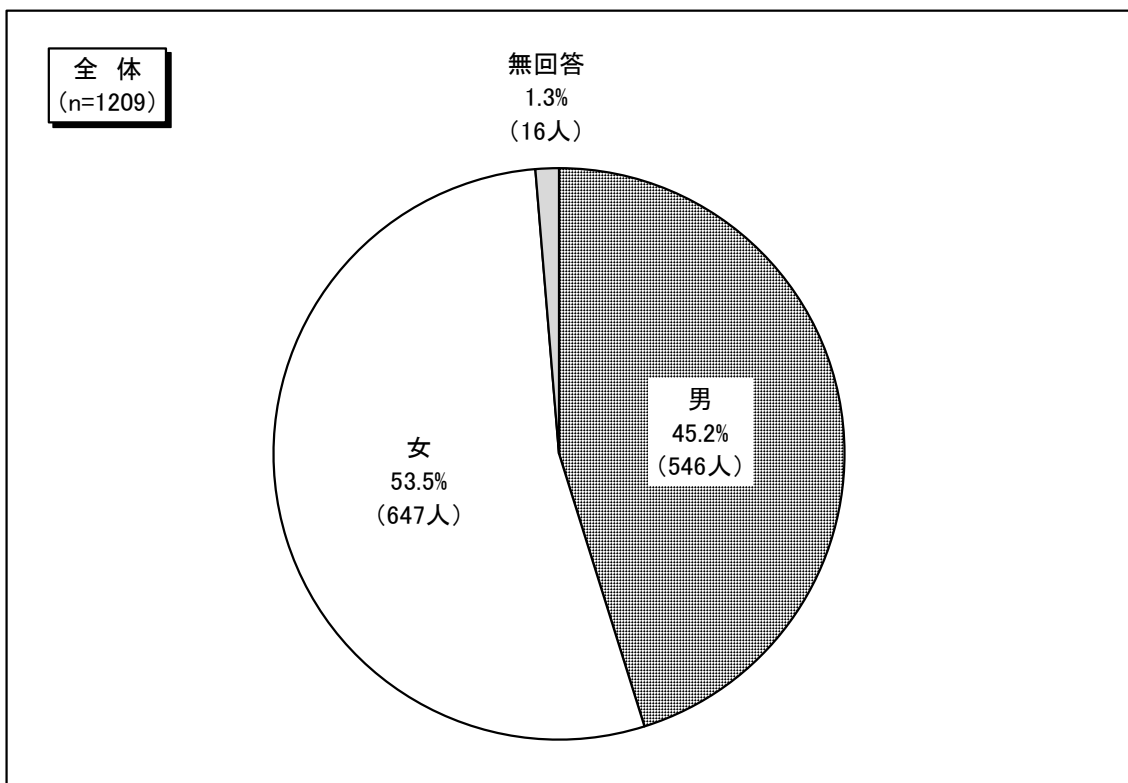
- | | |
|----------|---|
| (1) 調査地域 | 福島県全域（33市町村を抽出） |
| (2) 調査対象 | 満15歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 2,000（人） |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出
第1次抽出：「県北」「県中」「県南」「会津」「南会津」「相双」「いわき」の県内7地域をそれぞれ「総人口10万人以上の市」「総人口10万人未満の市」「郡部（町村）」の3グループに分け、各グループを1つの層とした。
各層の市町村別人口累積表により、等間隔に調査地点（市町村及び町丁・大字）を設定した。
第2次抽出：第1次抽出で得られた調査地点の住民基本台帳から、条件にあてはまる調査対象者個人を系統抽出した。 |
| (5) 基準日 | 令和7年7月1日
（抽出にあたっては上記年月日現在の満年齢を基準とした） |
| (6) 調査方法 | ・郵送による調査票の配布
・郵送又はインターネットによる回答 |
| (7) 調査期間 | 令和7年6月24日～7月9日 |
| (8) 回収結果 | 有効回収数1,209（有効回収率60.5%） |

3. 調査項目

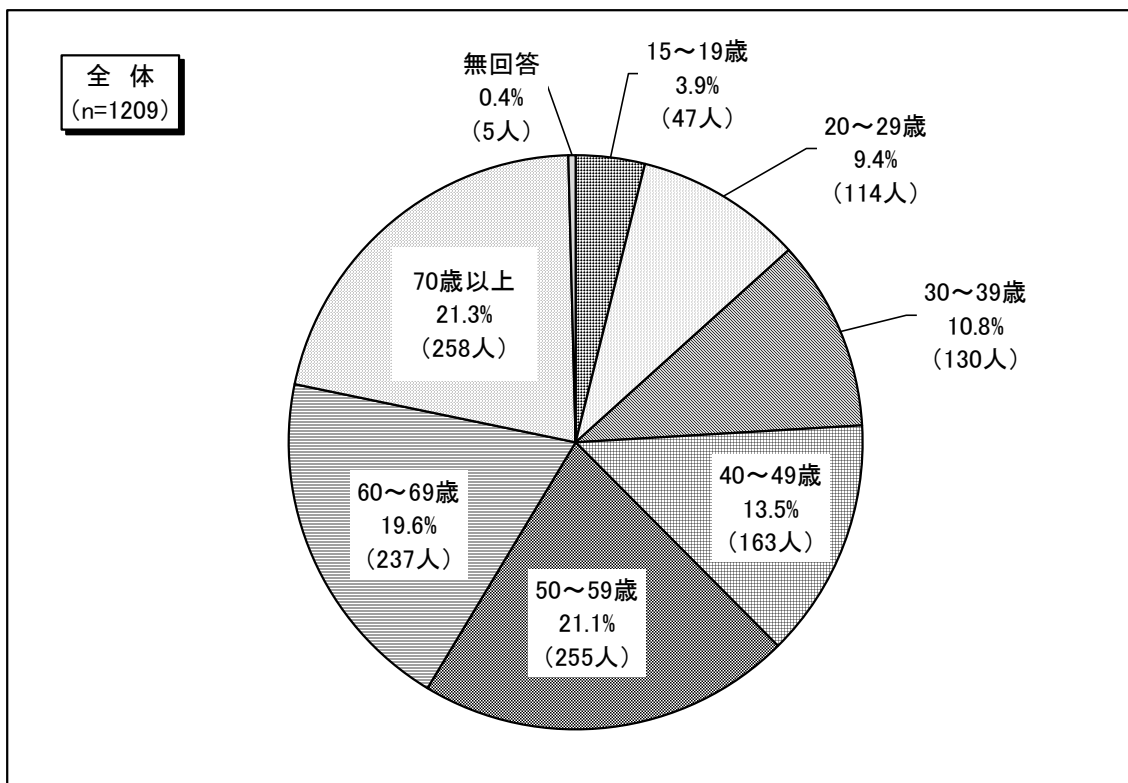
- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) 県内のプロスポーツチームについて
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) 自転車の安全利用について
- (8) ユニバーサルデザインについて
- (9) 地域の医療について
- (10) キャッシュレス決済の利用状況について
- (11) 農林水産業について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

4. 回答者の構成

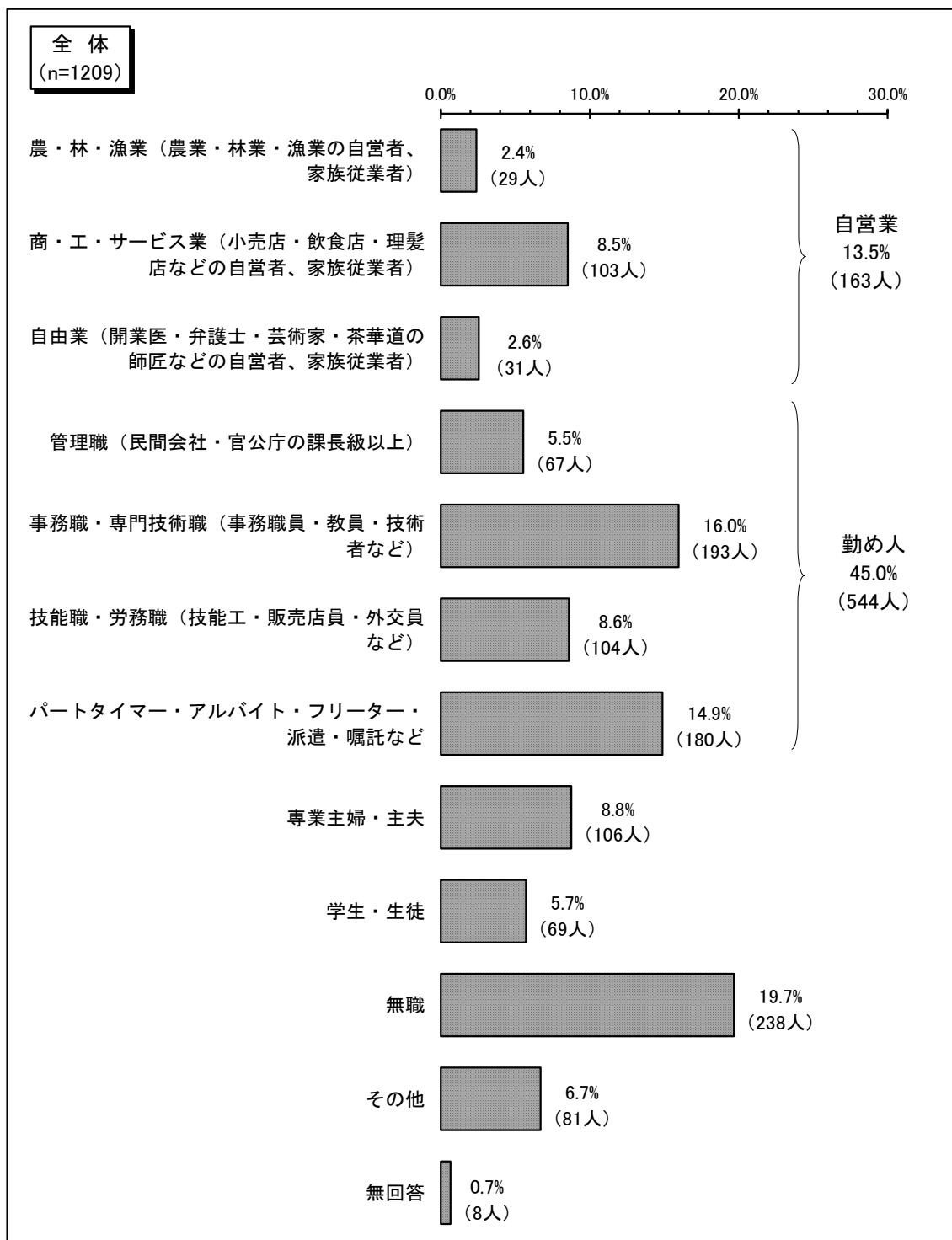
(1) 性別



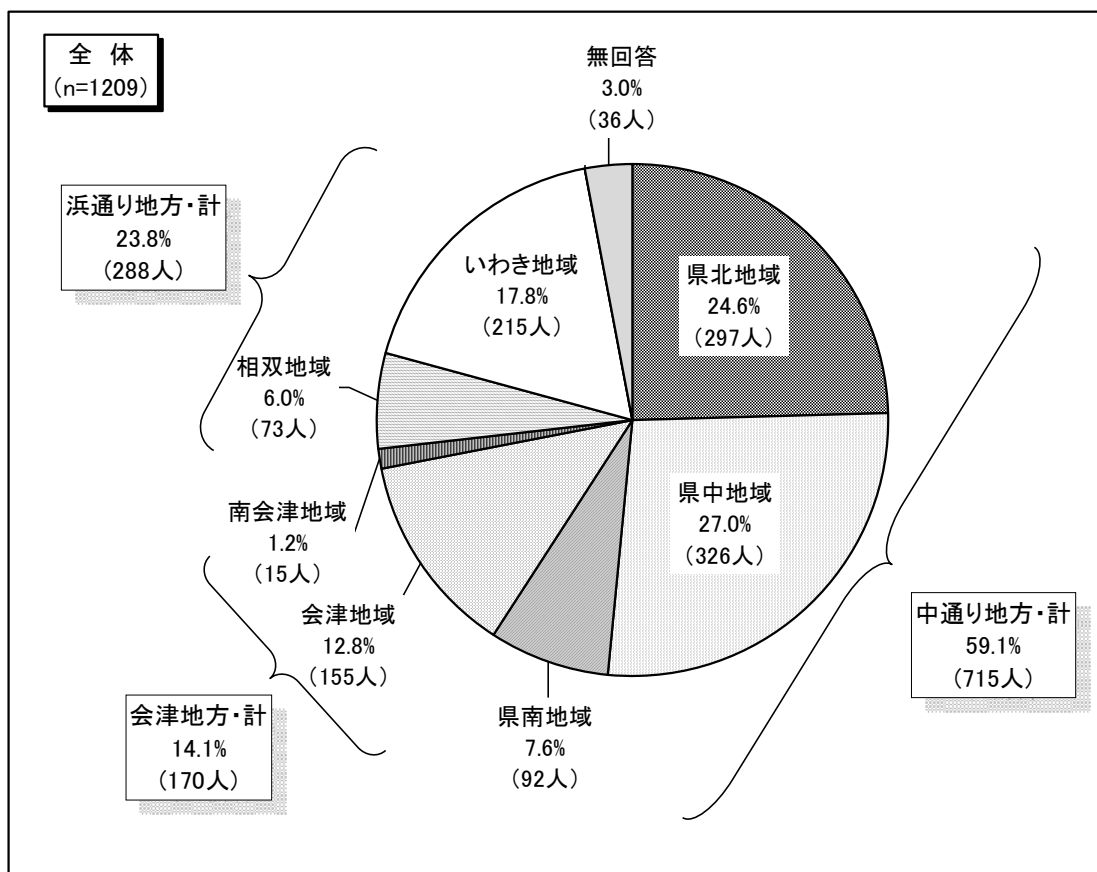
(2) 年齢



(3) 職業



(4) 居住地域



市町村別回答者数

		市町村名	回答者数 (人)	構成比 (%)
中通り地方	県北地域	福島市	181	15.0
		二本松市	39	3.2
		伊達市	41	3.4
		本宮市	14	1.2
		国見町	8	0.7
		大玉村	14	1.2
	県中地域	郡山市	197	16.3
		須賀川市	52	4.3
		田村市	22	1.8
		鏡石町	11	0.9
		石川町	11	0.9
		玉川村	13	1.1
		古殿町	7	0.6
		三春町	13	1.1
	県南地域	白河市	35	2.9
		西郷村	14	1.2
		中島村	7	0.6
		矢吹町	12	1.0
棚倉町		14	1.2	
塙町		10	0.8	

		市町村名	回答者数 (人)	構成比 (%)
会津地方	会津地域	会津若松市	76	6.3
		喜多方市	31	2.6
		西会津町	14	1.2
		猪苗代町	15	1.2
		会津坂下町	10	0.8
		会津美里町	9	0.7
	A	下郷町	4	0.3
		南会津町	11	0.9
浜通り地方	相双地域	相馬市	27	2.2
		南相馬市	36	3.0
		広野町	5	0.4
		川内村	4	0.3
		浪江町	1	0.1
	B	いわき市	215	17.8
居住市町村別無回答			36	3.0
全 体			1,209	100.0

A 南会津地域

B いわき地域

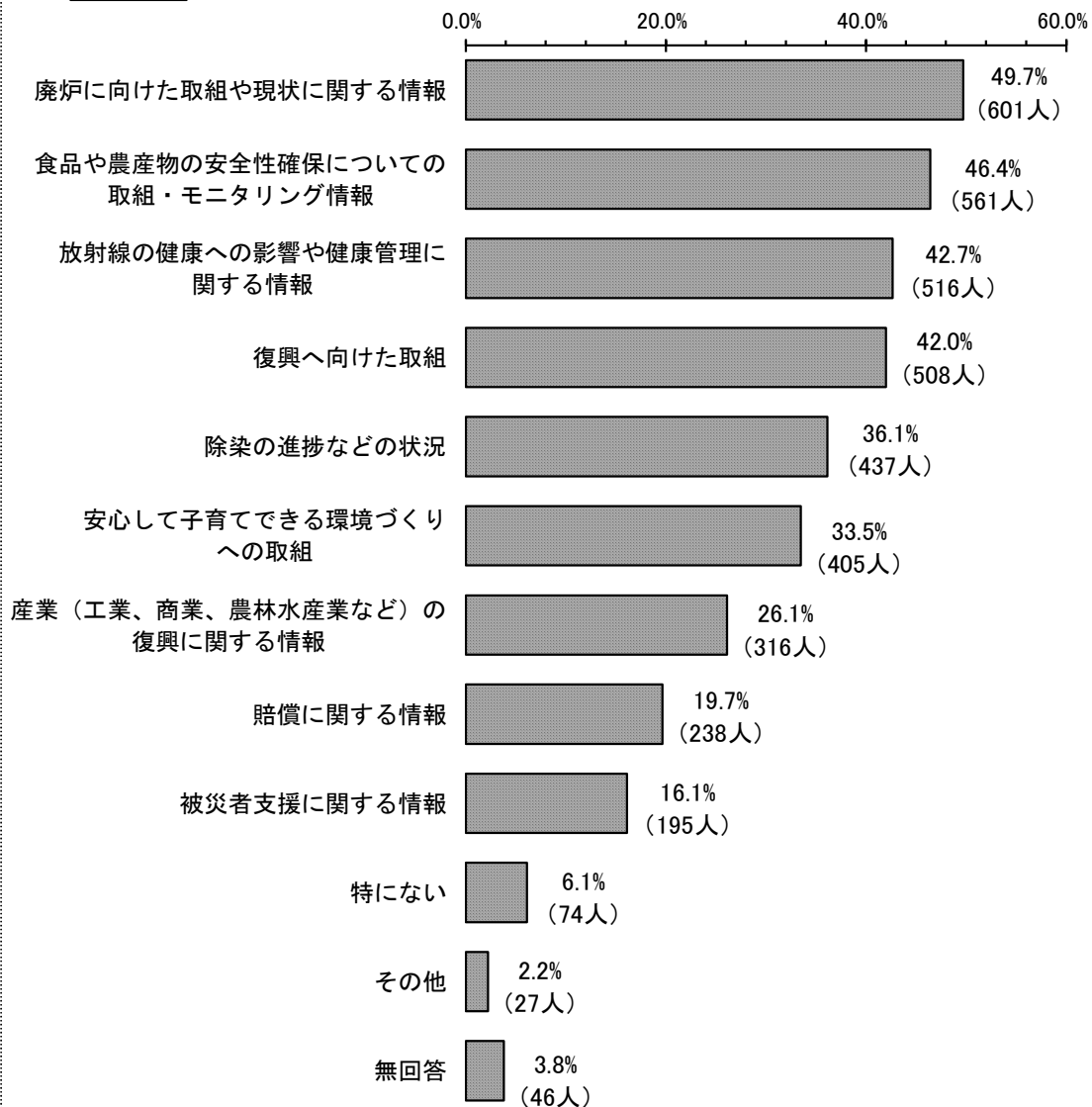
Ⅱ 調査結果の解説

1. 復興等に関する情報発信について

(1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

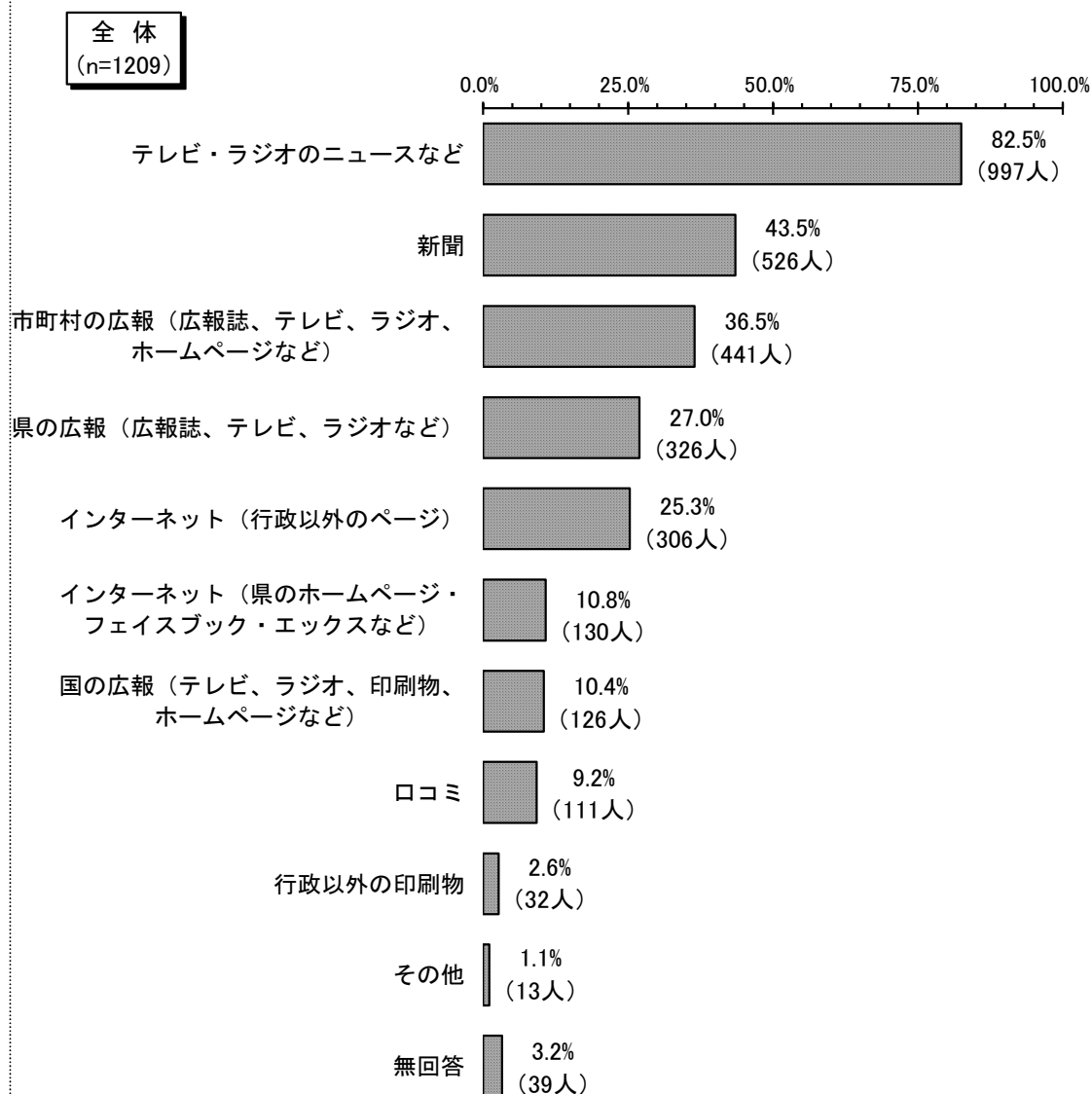
全 体
(n=1209)



震災・原発事故や復興について知りたい情報は、「廃炉に向けた取組や現状に関する情報」(49.7%)の割合が最も高く、約半数となっている。以下、「食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報」(46.4%)、「放射線の健康への影響や健康管理に関する情報」(42.7%)、「復興へ向けた取組」(42.0%)が4割台、「除染の進捗などの状況」(36.1%)、「安心して子育てできる環境づくりへの取組」(33.5%)が3割台などとなっている。

(2) 復興状況や新しい取組に関する情報の入手先

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については主に何で入手していますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

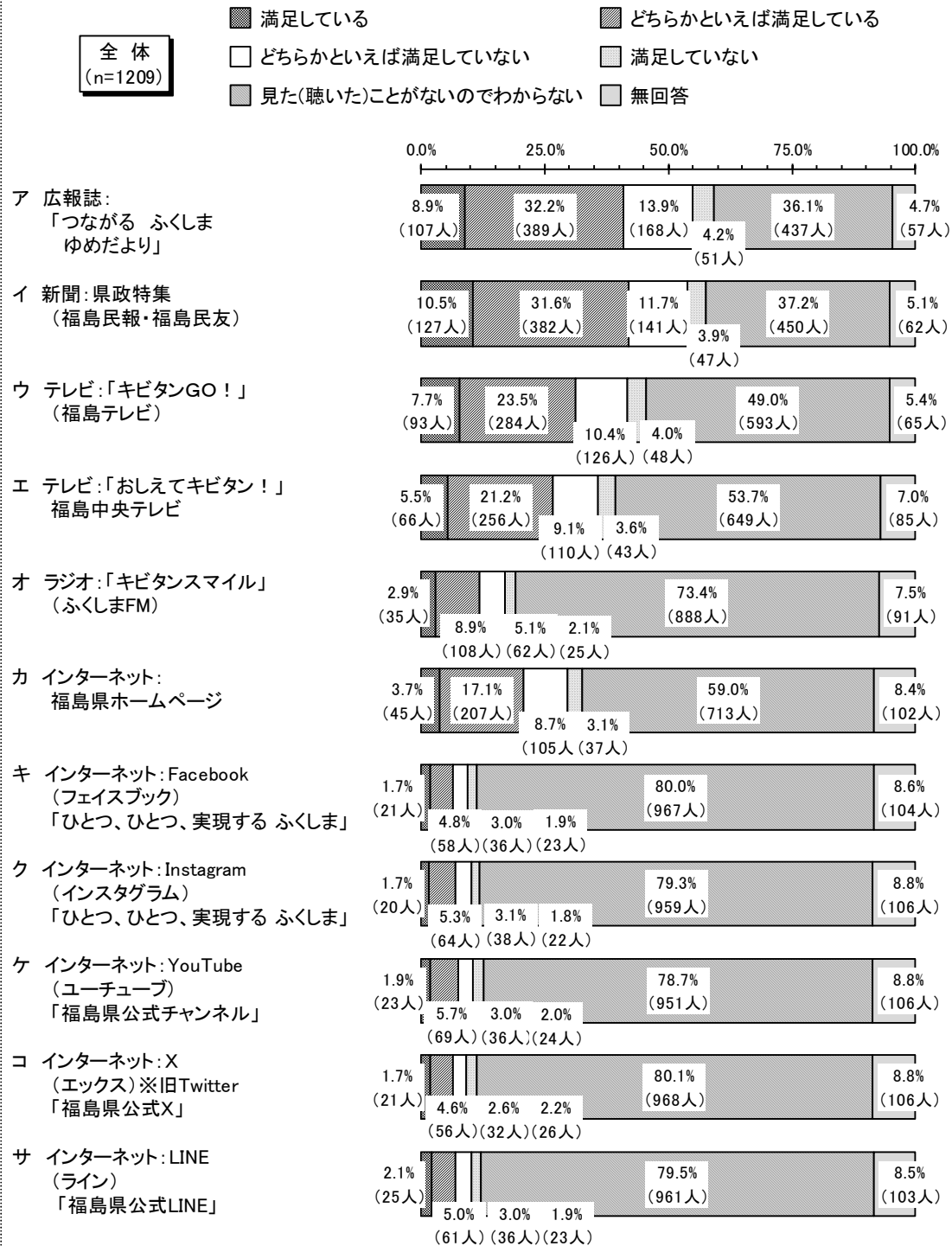


復興の状況や新しい取組に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオのニュースなど」（82.5%）が最も多く、8割強となっている。以下、「新聞」（43.5%）が4割強、「市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）」（36.5%）が3割半ば、「県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）」（27.0%）が3割弱などとなっている。

(3) 福島県の広報活動についての満足度

問3 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

ア～サについて、それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

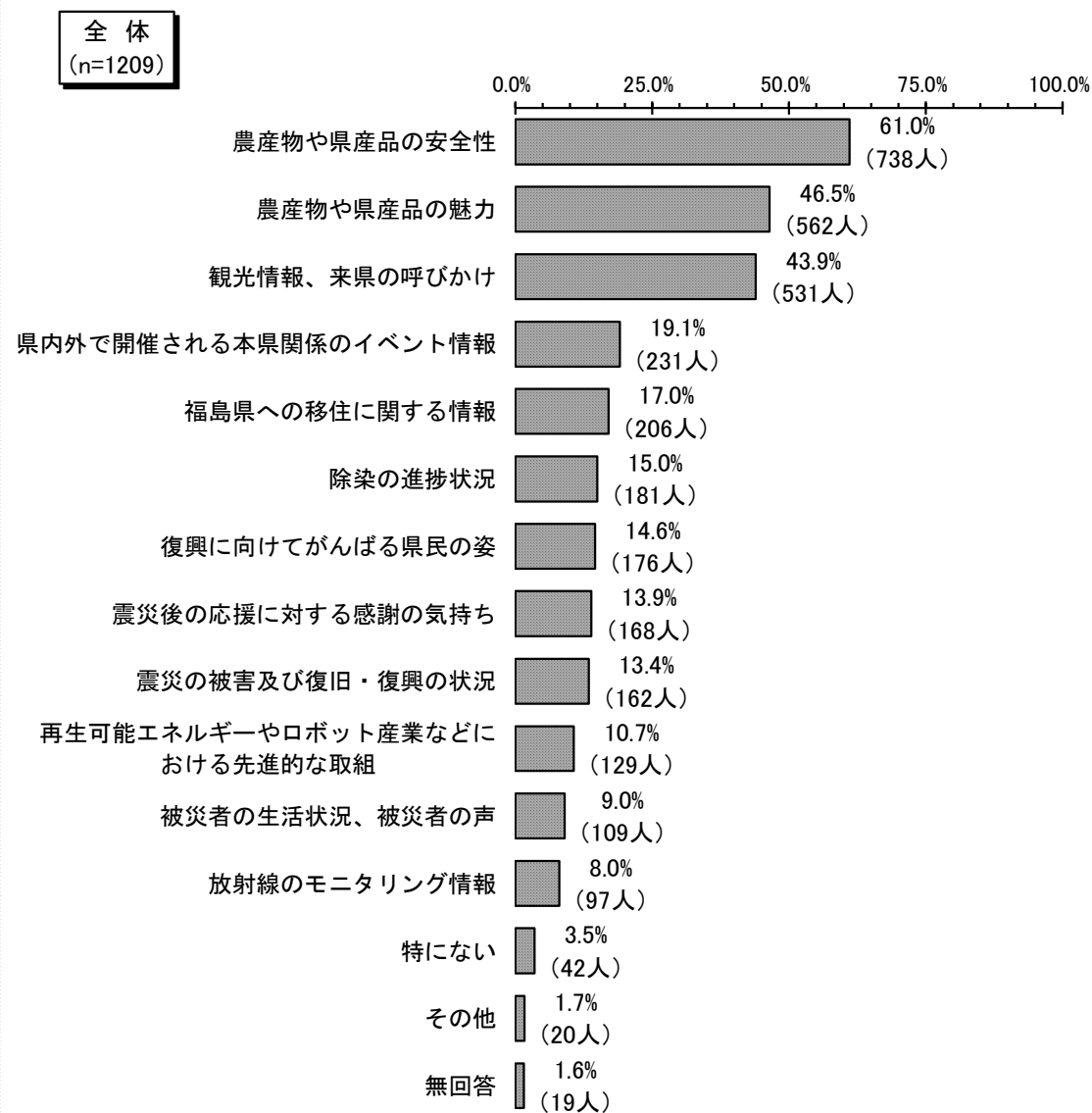


福島県の広報活動に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』計の割合をみると、〈イ 新聞『県政特集(福島民報・福島民友)』〉(42.1%)と〈ア 広報誌『つながる ふくしま ゆめだより』〉(41.0%)が4割台で高くなっている。以下、〈ウ テレビ『キビタンGO! (福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58)』〉(31.2%)、〈エ テレビ『おしえてキビタン! (福島中央テレビ：毎週金曜日 20:54～20:57) (再放送 翌月曜日 11:25～11:30)』〉(26.6%)などとなっている。

一方、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた『満足していない』計の割合は、〈ア 広報誌『つながる ふくしま ゆめだより』〉(18.1%)が約2割で最も高くなっている。次いで、〈イ 新聞『県政特集(福島民報・福島民友)』〉(15.6%)が続いている。以下、〈ウ テレビ『キビタンGO! (福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58)』〉(14.4%)、〈エ テレビ『おしえてキビタン! (福島中央テレビ：毎週金曜日 20:54～20:57) (再放送 翌月曜日 11:25～11:30)』〉(12.7%)、〈カ インターネット『福島県ホームページ』〉(11.7%)などとなっている。

(4) 福島県の現状について県外に伝えたいこと

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



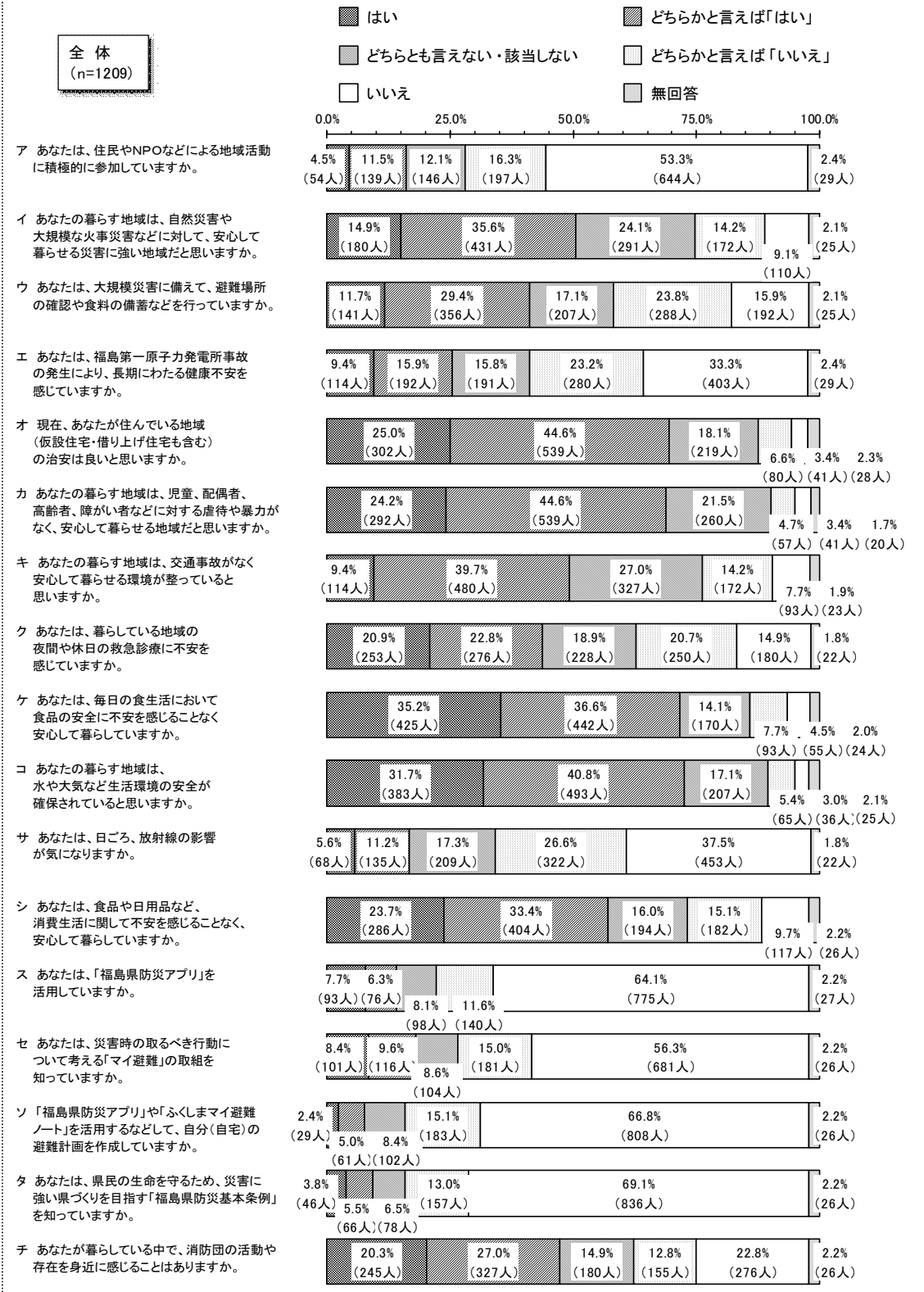
福島県の現状について県外に伝えるべきことは、「農産物や県産品の安全性」(61.0%)が最も多く、約6割となっている。以下、「農産物や県産品の魅力」(46.5%)、「観光情報、来県の呼びかけ」(43.9%)が4割台などとなっている。

2. 安全で安心な県づくりについて

(1) 地域の安全・安心についての評価

問5 次にあげたア～チの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。

それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。



「はい」と回答した人の割合をみると、〈ケ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(35.2%) が最も高くなっている。以下、〈コ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉(31.7%)、〈オ 現在、あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。〉(25.0%) などとなっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈コ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉

(72.5%) が最も高く、7割強を占めている。以下、〈ケ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(71.7%)、〈オ 現在、あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。〉(69.6%)、〈カ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉(68.7%) が約7割、〈シ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。〉(57.1%) が5割半ばで続いている。

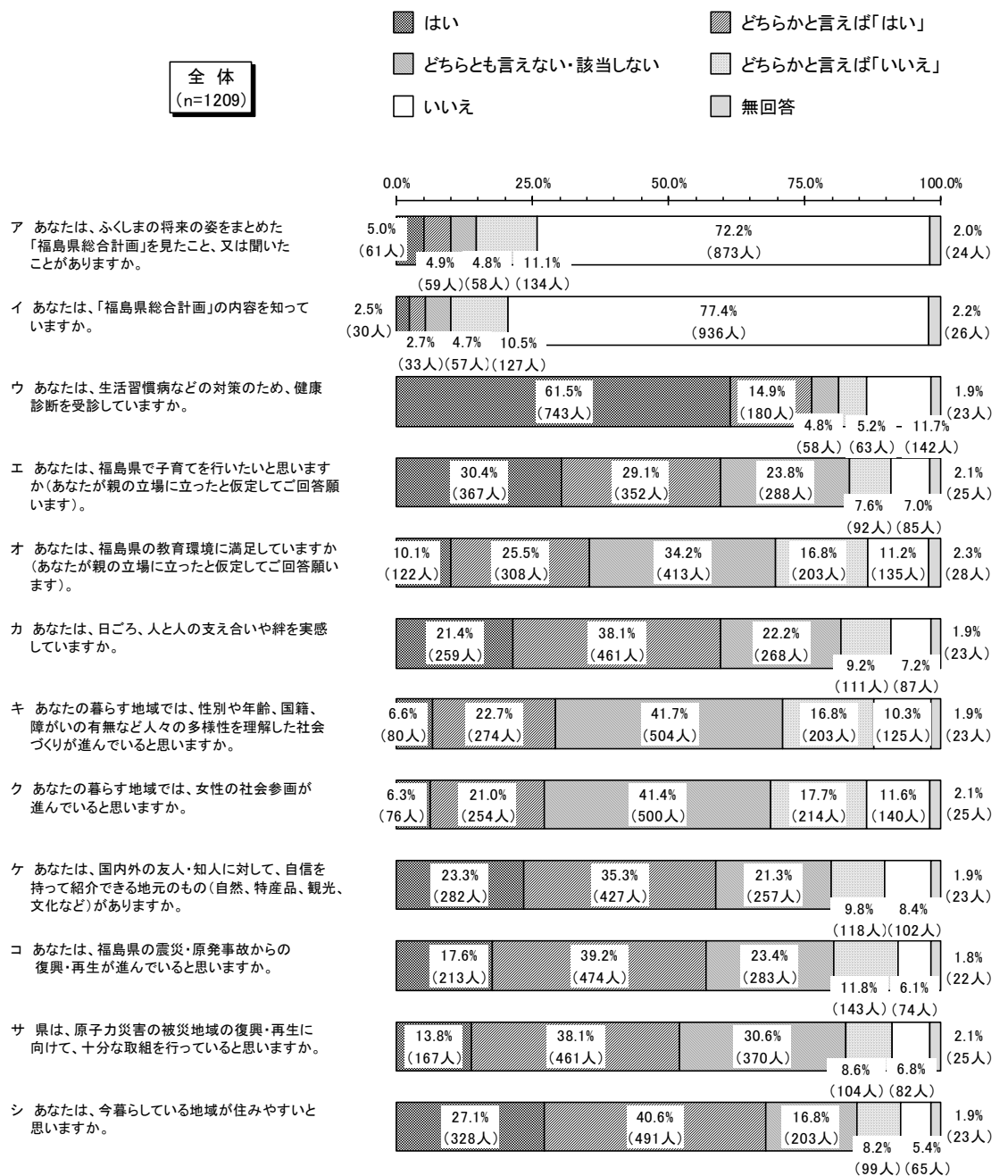
一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈タ あなたは、県民の生命を守るため、災害に強い県づくりを目指す「福島県防災基本条例」を知っていますか。〉(82.1%)、〈ソ 「福島県防災アプリ」や「ふくしまマイ避難ノート」を活用するなどして、自分（自宅）の避難計画を作成していますか。〉(82.0%) の割合が高く、約8割を占めている。以下、〈ア あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。〉(69.6%) が約7割などとなっている。

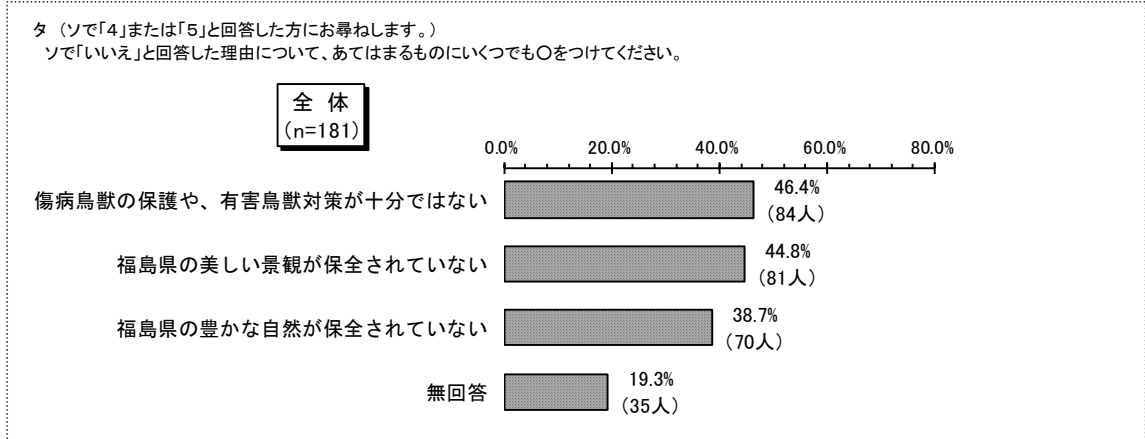
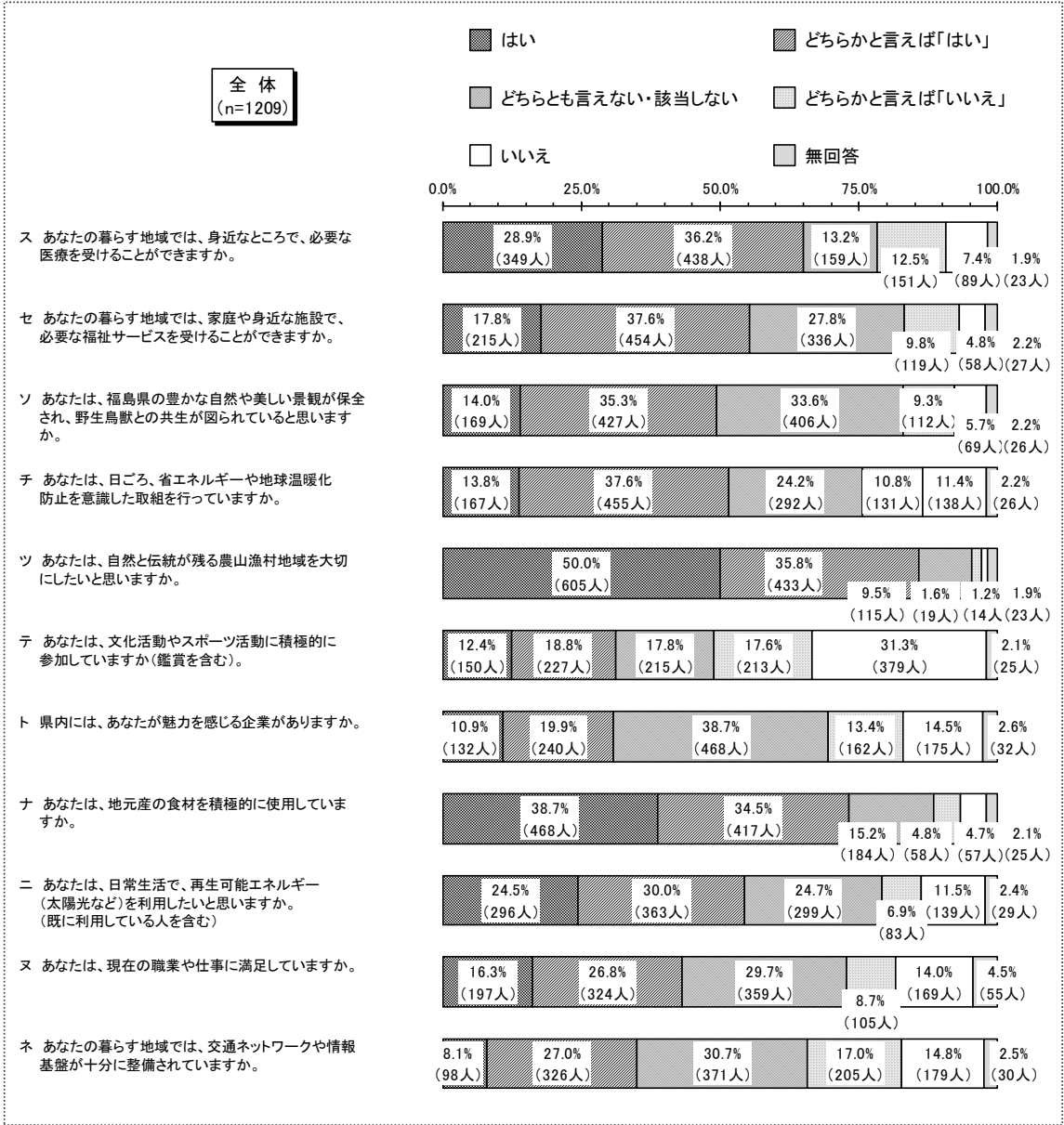
3. 福島県の総合計画について

(1) 福島県の現状についての評価

問6 次にあげたア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。

それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。





「はい」と回答した人の割合は、〈ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(61.5%)が最も高く、約6割となっている。次いで、〈ツ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(50.0%)が5割となっている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈ツ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(85.9%)が高く、8割半ばとなっている。以下、〈ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(76.3%)、〈ナ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉(73.2%)が7割台、〈シ あなたは、今暮らしている地域が住みやすいと思いますか。〉(67.7%)、〈ス あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。〉(65.1%)が6割台、〈カ あなたは、日ごろ、人と人の支え合いや絆を実感していますか。〉(59.6%)、〈エ あなたは、福島県で子育てを行いたいと思いますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(59.5%)、〈ケ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの(自然、特産品、観光、文化など)がありますか。〉(58.6%)、〈コ あなたは、福島県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると思いますか。〉(56.8%)、〈セ あなたの暮らす地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。〉(55.3%)、〈ニ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー(太陽光など)を利用したいと思いますか(既に利用している人を含む)。〉(54.5%)、〈サ 県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いますか。〉(51.9%)、〈チ あなたは、日ごろ、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。〉(51.4%)が5割台などとなっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈イ あなたは、「福島県総合計画」の内容を知っていますか。〉(87.9%)、〈ア あなたは、ふくしまの将来の姿をまとめた「福島県総合計画」を見たこと、又は聞いたことがありますか。〉(83.3%)が高くなっている。以下、〈テ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。〉(49.0%)、〈ネ あなたの暮らす地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。〉(31.8%)、〈ク あなたの暮らす地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。〉(29.3%)、〈オ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(28.0%)などとなっている。

また、〈ソ あなたは、福島県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると思いますか。〉で『いいえ』と回答した理由について、「傷病鳥獣の保護や、有害鳥獣対策が十分ではない」(46.4%)の割合が最も高く、以下「福島県の美しい景観が保全されていない」(44.8%)、「福島県の豊かな自然が保全されていない」(38.7%)となっている。

4. 福島イノベーション・コースト構想について

(1) 福島イノベーション・コースト構想※について知っている取組

※【参考】「福島イノベーション・コースト構想」とは

東日本大震災と原子力災害によって大きな被害を受けた浜通り地域等の産業を回復するため、この地域を新たな産業が次々と生まれる場所にすることを目指すものです。令和5年4月1日には、構想を更に発展させ、福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力や産業競争力の強化に貢献する、「創造的復興の中核拠点」として、福島国際研究教育機構（F-REI）が国によって浪江町に設立されました。

構想を実現するために、以下の分野を中心に取り組んでいます。

・原子力発電所の廃炉に向けた取組

廃炉国際共同研究センター（富岡町）での研究開発、地元企業を廃炉産業へ参入しやすくするための取組など

・ロボット産業を活発にするための取組

福島ロボットテストフィールド（南相馬市）を活用したロボット・ドローン等の実証実験など

・新エネルギーの利用を増やし、環境・リサイクル産業を集めるための取組

福島水素エネルギー研究フィールド（浪江町）での研究開発や環境負荷が低い製造技術の開発など

・農林水産業を再生するために新しい技術を広める取組

自動運転トラクター、ドローンによる農薬散布などの先端技術を活用した農業など

・医療関連で利用できる技術を支える取組

健康状態の分析・確認ができる衣類や介護現場の負担を軽減する機器の開発など

・航空宇宙で利用できる技術を支える取組

空飛ぶクルマの開発や宇宙での活用を想定した技術開発など

・子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組

ふたば未来学園中学校・高等学校（広野町）での教育活動、大学や地元企業等の力を借りた特色ある教育プログラムなど

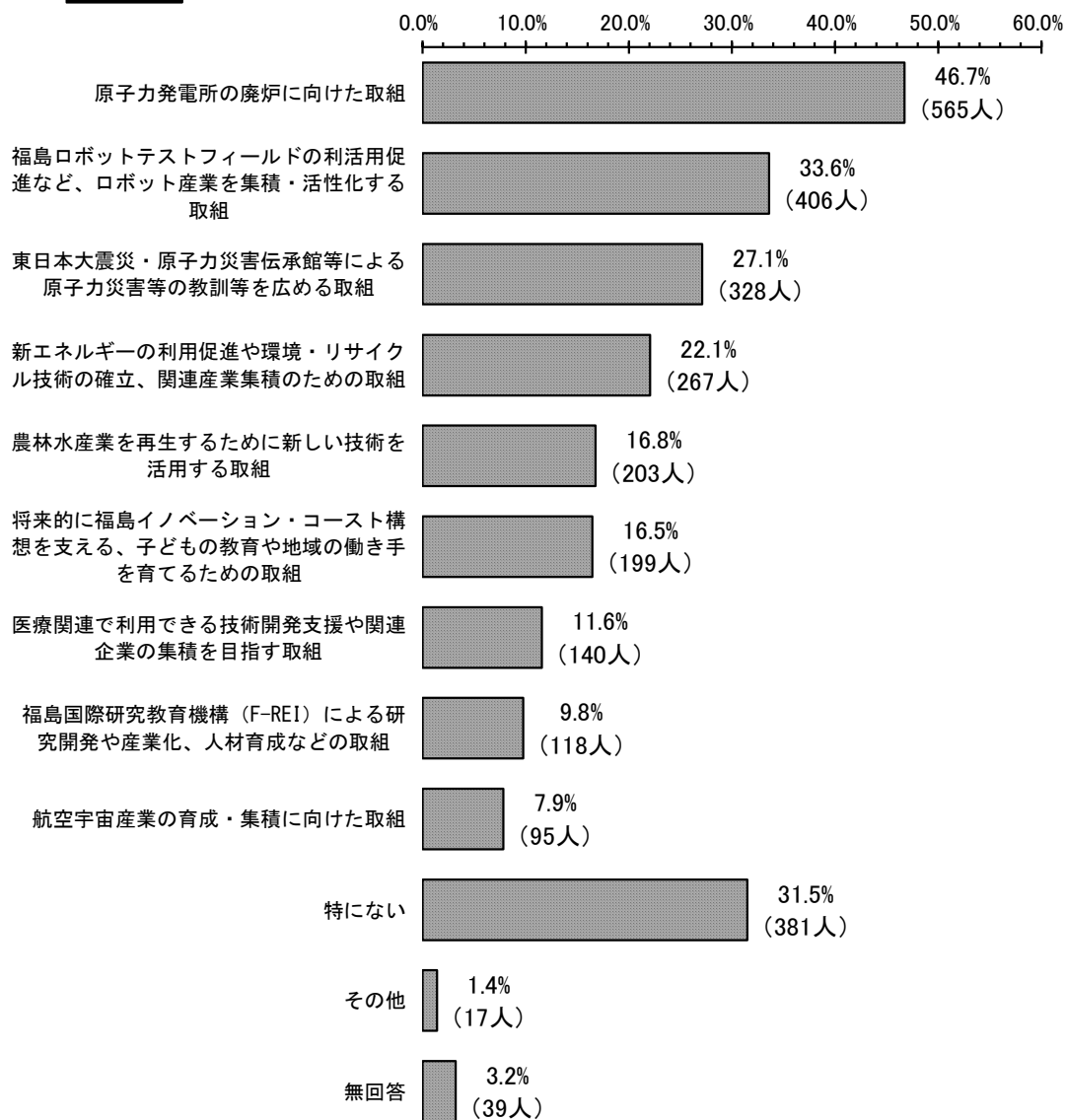
・福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓を広める取組

イベントやインターネット（ホームページ、SNSなど）での情報発信、産学官の交流イベントや若者世代へのセミナーの開催、東日本大震災・原子力災害伝承館（双葉町）の運営など

問7 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全 体
(n=1209)

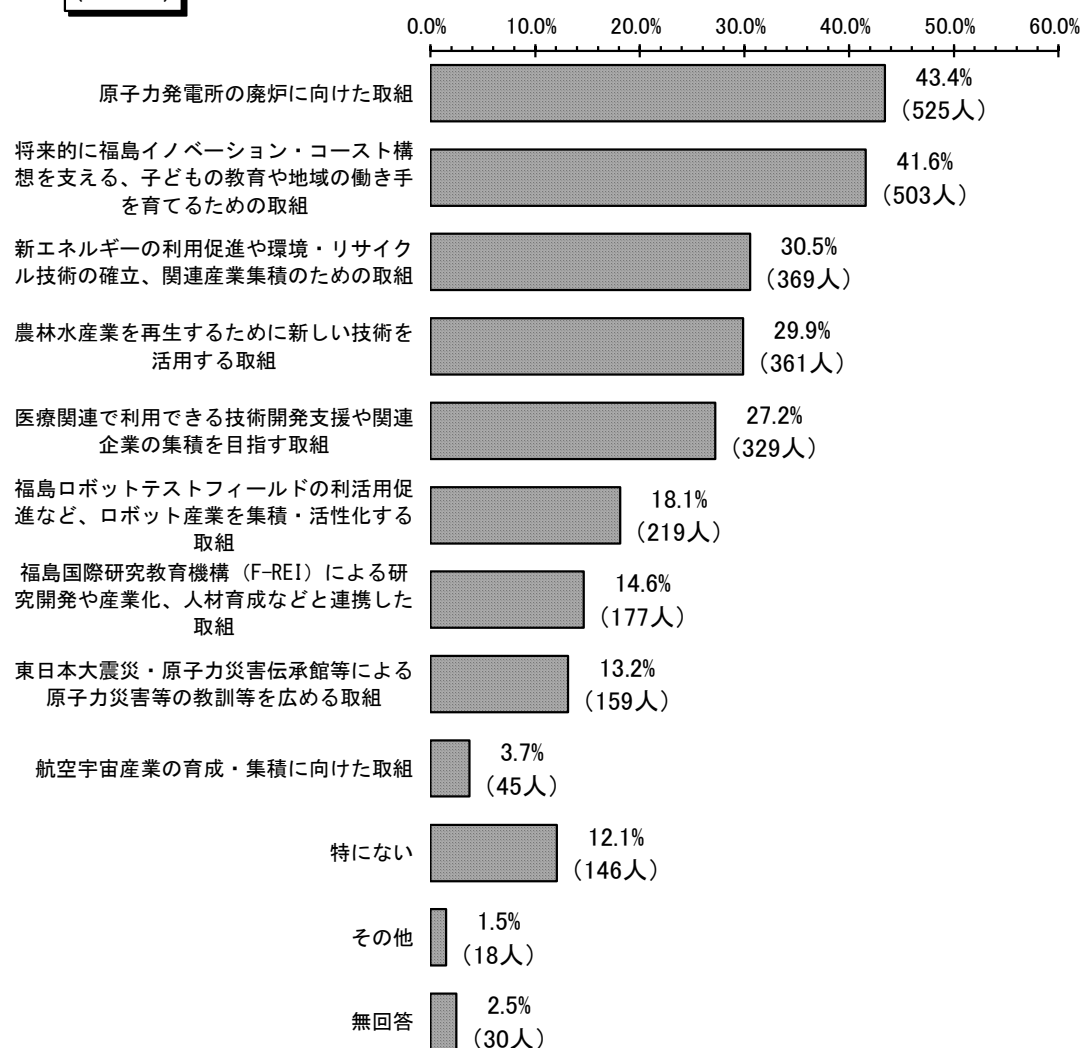


福島イノベーション・コースト構想について知っている取組は、「原子力発電所の廃炉に向けた取組」(46.7%)が最も多くなっている。以下、「福島ロボットテストフィールドの利活用促進など、ロボット産業を集積・活性化する取組」(33.6%)が3割台、「東日本大震災・原子力災害伝承館等による原子力災害等の教訓等を広める取組」(27.1%)、「新エネルギーの利用促進や環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組」(22.1%)が2割台などとなっている。

(2) 福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組

問8 今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、
県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全 体
(n=1209)

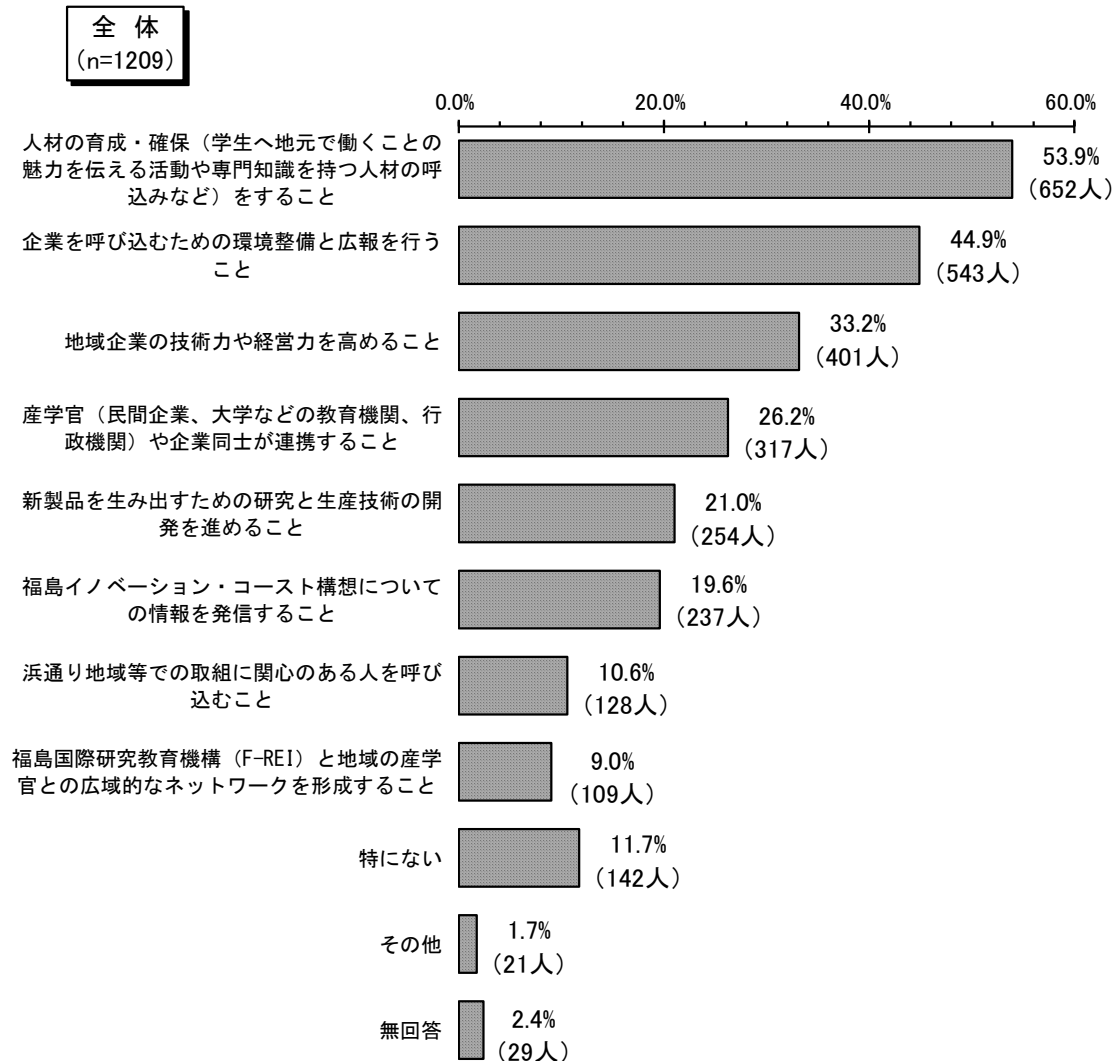


福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取組については、「原子力発電所の廃炉に向けた取組」(43.4%)と「将来的に福島イノベーション・コースト構想を支える、子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組」(41.6%)が多く、4割台となっている。以下、「新エネルギーの利用促進や環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組」(30.5%)、「農林水産業を再生するために新しい技術を活用する取組」(29.9%)が約3割などとなっている。

(3) 福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策

問9 今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



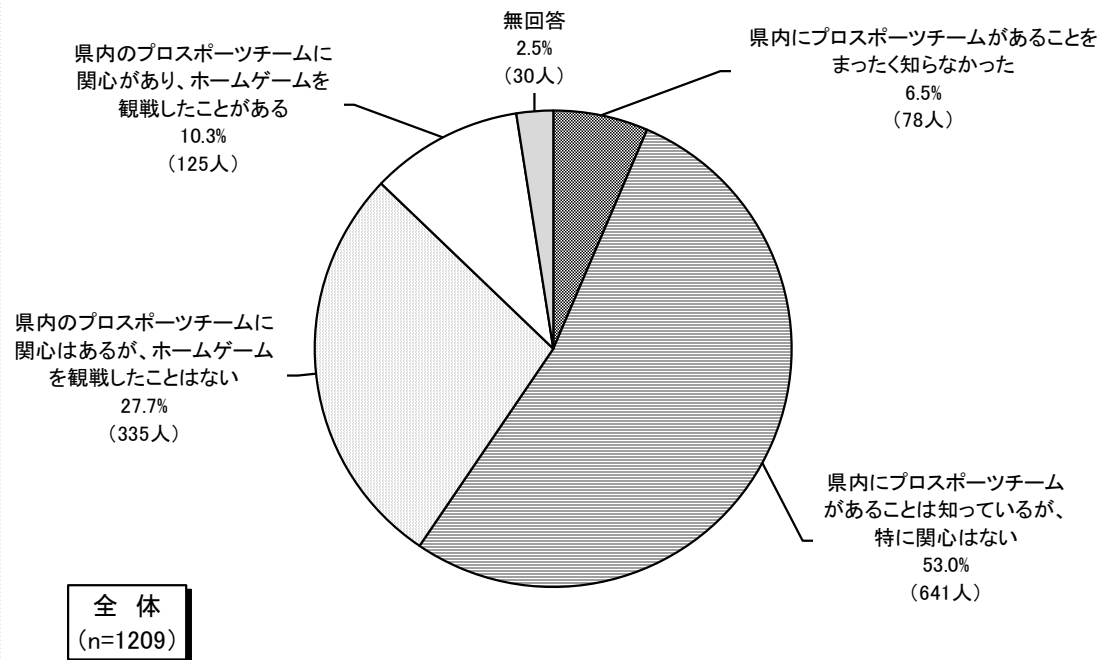
福島イノベーション・コースト構想の効果をもたらすための施策については、「人材の育成・確保（学生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼び込みなど）をすること」（53.9%）が最も多く、5割半ばとなっている。以下、「企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと」（44.9%）が4割台、「地域企業の技術力や経営力を高めること」（33.2%）が3割台、「産学官（民間企業、大学などの教育機関、行政機関）や企業同士が連携すること」（26.2%）、「新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること」（21.0%）が2割台などとなっている。

5. 県内のプロスポーツチームについて

(1) 県内のプロスポーツチームへの関心

問 10 県内のプロスポーツチームについて伺います。

あてはまるもの 1 つに○をつけてください。



県内のプロスポーツチームへの関心は、「県内にプロスポーツチームがあることをまったく（全チーム）知らなかった」（6.5%）と「県内にプロスポーツチームがあることは知っている（一部のチームでも可）が、特に関心はない」（53.0%）を合わせると半数以上の方が『関心がない』と回答している。「県内のプロスポーツチームに関心はある（一部のチームでも可）が、ホームゲームを観戦したことはない」（27.7%）が3割弱、「県内のプロスポーツチームに関心があり（一部のチームでも可）、ホームゲームを観戦したことがある」（10.3%）が約1割と『関心がある』は4割弱となっている。

(2) 試合を現地で観戦しない理由

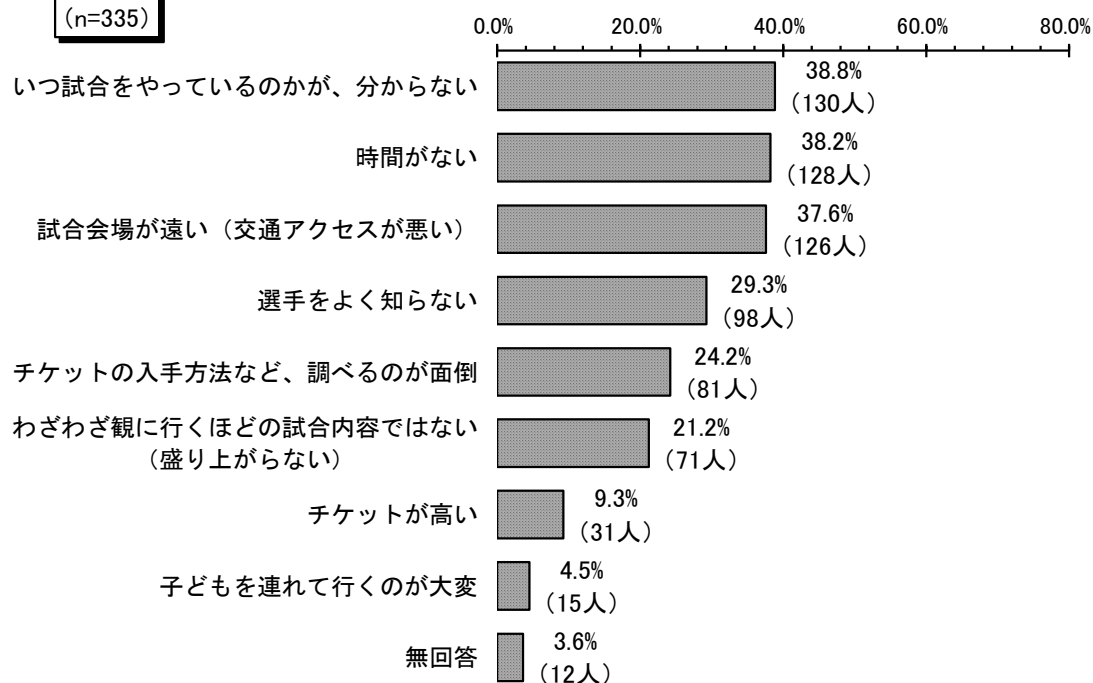
(問10で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問11 試合を現地で観戦しない理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全 体

(n=335)



試合を現地で観戦しない理由は、「いつ試合をやっているのかが、分からない」(38.8%)、「時間がない」(38.2%)、「試合会場が遠い (交通アクセスが悪い)」(37.6%) が3割台後半となっており、以下「選手をよく知らない」(29.3%) などとなっている。

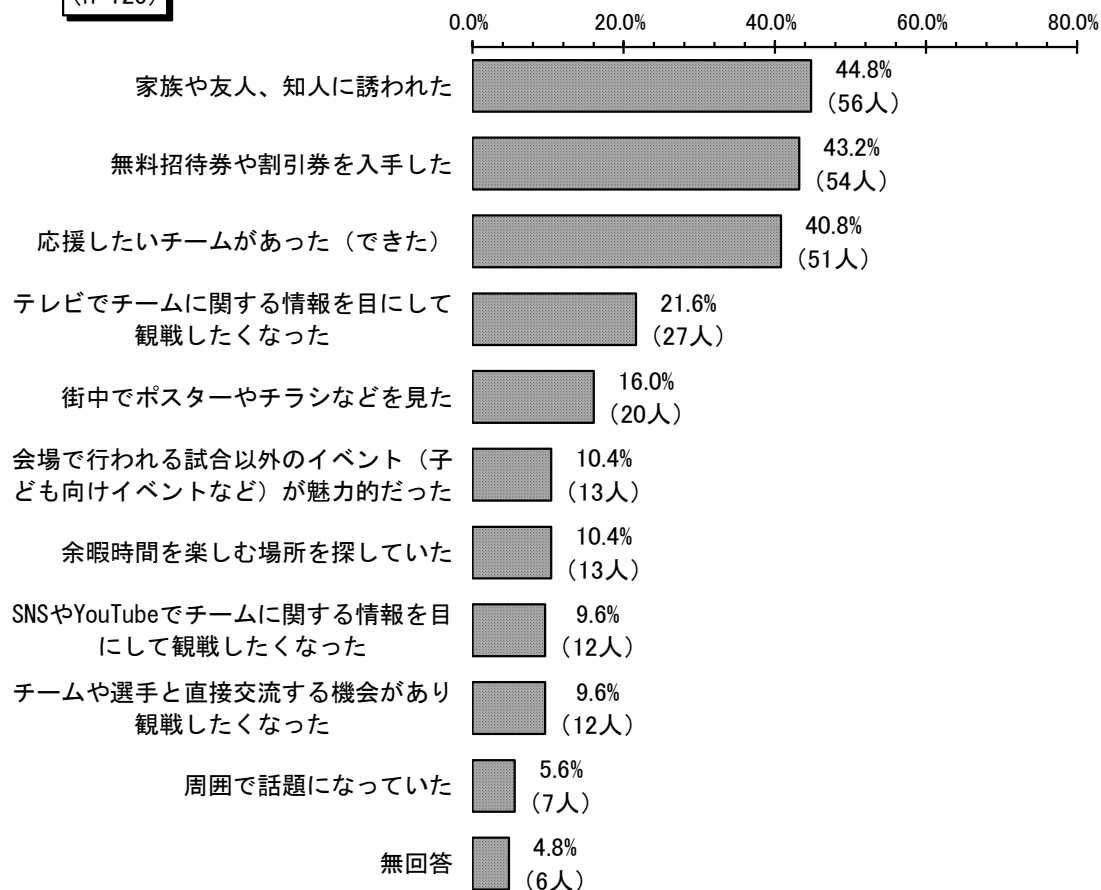
(3) 試合を現地で観戦した理由

(問10で「4」と回答した方にお尋ねします。)

問12 試合を現地で観戦した理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全 体
(n=125)

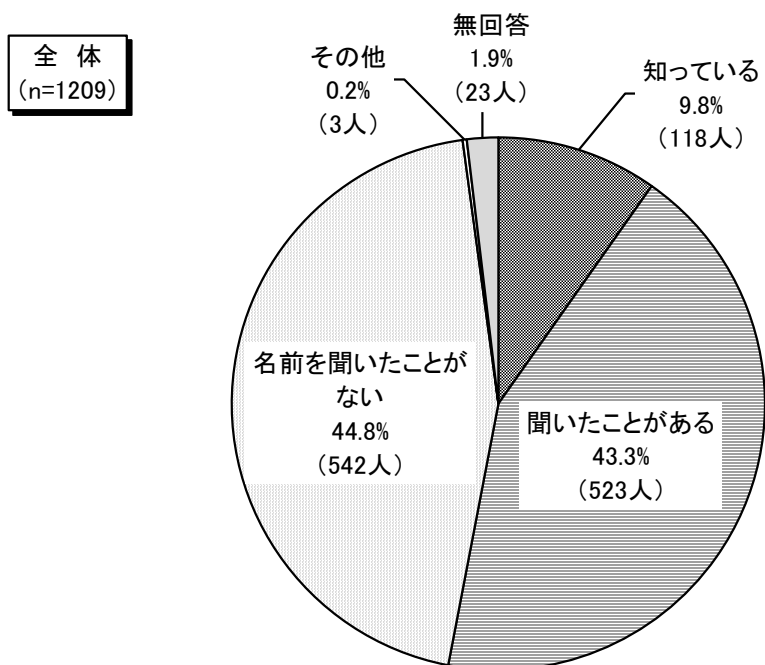


試合を現地で観戦した理由は、「家族や友人、知人に誘われた」(44.8%)、「無料招待券や割引券を入手した」(43.2%)、「応援したいチームがあった (できた)」(40.8%)が多く、以下「テレビでチームに関する情報を目にして観戦したくなった」(21.6%) などとなっている。

6. チャレンジふくしま県民運動について

(1) チャレンジふくしま県民運動の認知状況

問 13 「チャレンジふくしま県民運動」について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

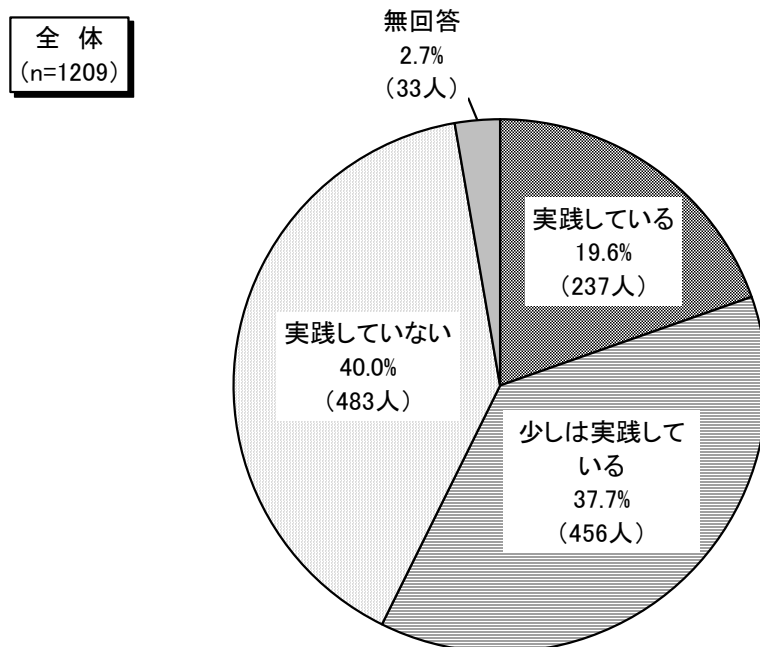


チャレンジふくしま県民運動の認知状況については、「知っている」(9.8%)と「聞いたことがある」(43.3%)を合わせると半数以上の人に認知されているが、「名前を聞いたことがない」(44.8%)が4割半ばとなった。

(2) 心身の健康づくりの実践状況

問 14 例えば、減塩、ウォーキング（ウォークビズ※含む）など軽い運動、サークル活動のような心身の健康づくりを最近行っていますか。

最もあてはまるもの1つに○をつけてください。



※【参考】ウォークビズとは

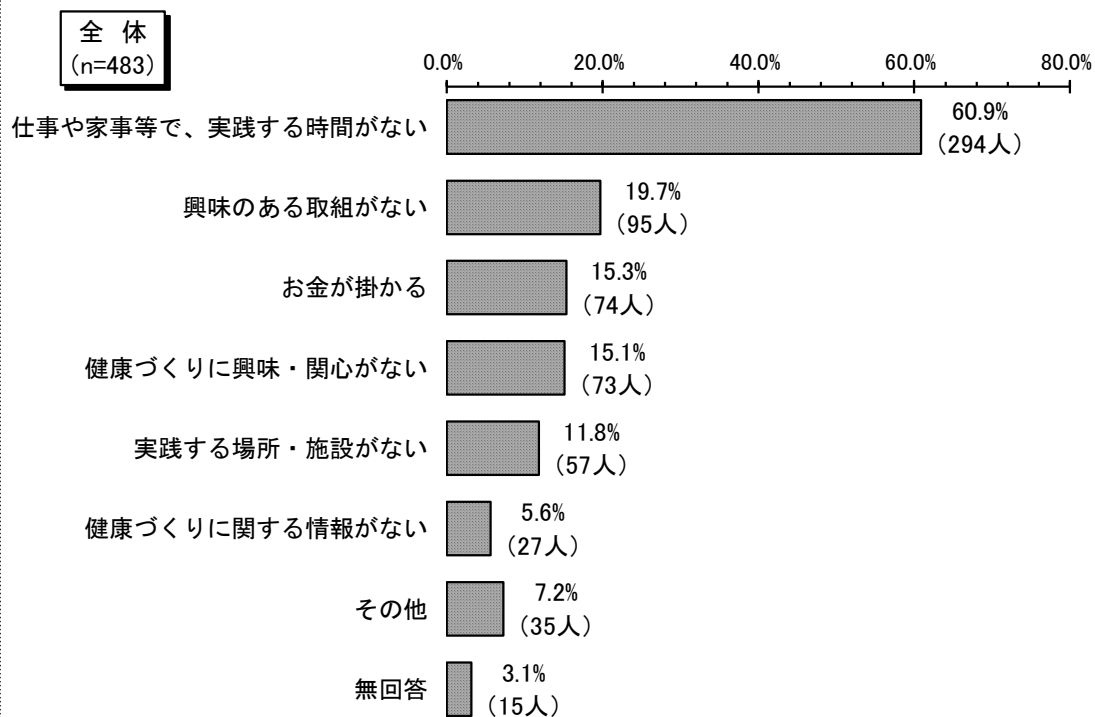
健康づくりのため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務すること。

心身の健康づくりの実践状況については、「実践している」（19.6%）と「少しは実践している」（37.7%）を合わせると半数以上の人は何らかの健康づくりを実践しており、「実践していない」（40.0%）は4割となった。

(3) 心身の健康づくりを実践していない理由

(問 14 で「3 実践していない」と回答した方にお尋ねします。)

問 15 健康づくりを実践していない理由について、
あてはまるものにいくつでも○を付けてください。

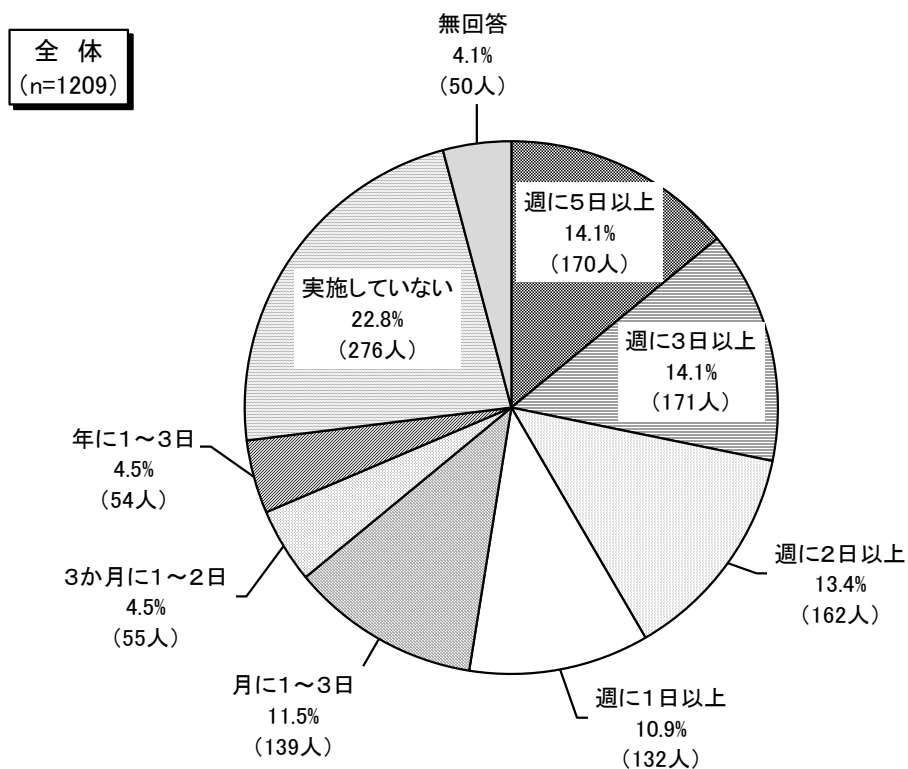


心身の健康づくりを実践していない理由は、「仕事や家事等で、実践する時間がない」(60.9%) が最も多く、約 6 割となっている。以下、「興味のある取組がない」(19.7%) 「お金が掛かる」(15.3%)、「健康づくりに興味・関心がない」(15.1%)、「実践する場所・施設がない」(11.8%) が 1 割台などとなっている。

(4) 心身の健康づくりの実践頻度

問 16 あなたは、この1年間にどの程度の頻度で運動（ウォーキング等の軽い運動含む）やスポーツを実施されましたか。

最もあてはまるもの1つに○をつけてください。



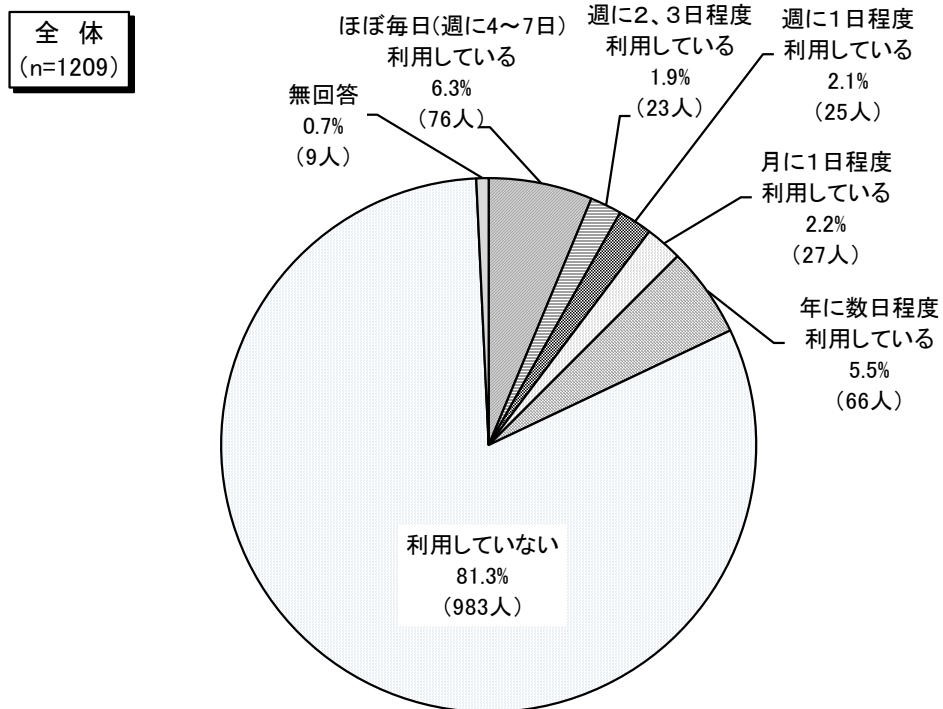
心身の健康づくりの実践頻度については、「週に5日以上」(14.1%)、「週に3日以上」(14.1%)が多くなっており、次いで、「週に2日以上」(13.4%)と続いている。週に1日以上実施している人の合計(52.5%)は5割を超えている。

一方、「実施していない」(22.8%)の割合は2割強となっている。

7. 自転車の安全利用について

(1) 自転車の利用頻度

問 17 あなたは、ふだんの生活で自転車をどのくらい利用していますか。
あてはまるもの 1 つに○をつけてください。



自転車を利用している人の利用頻度は「ほぼ毎日(週に4~7日)利用している」(6.3%)の割合が最も多く、1割未満となっている。月に1日以上利用している人の合計(12.5%)は1割強となっている。

一方、「利用していない」(81.3%)の割合は約8割となっている。

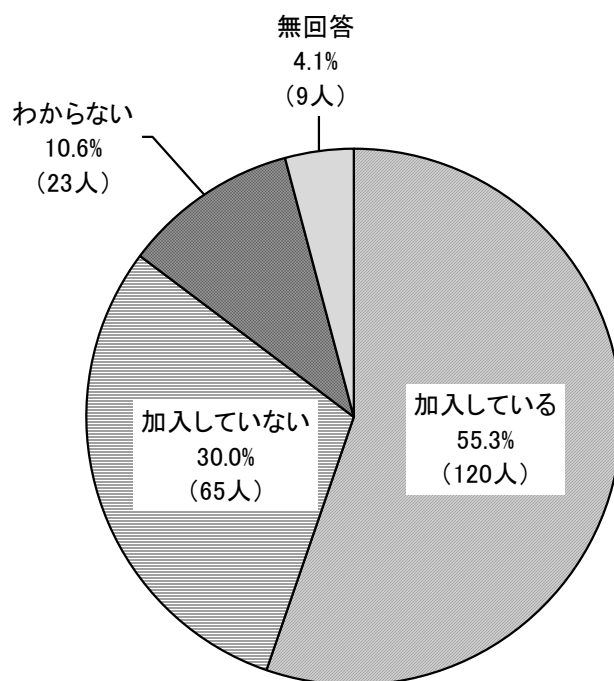
(2) 自転車損害賠償保険の加入状況

(問 17 で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問 18 あなたは、自転車保険に加入していますか。

あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

全 体
(n=217)



自転車損害賠償保険の加入状況は「加入している」(55.3%) が最も多く、5割半ばとなっており、「加入していない」(30.0%) は、3割となっている。

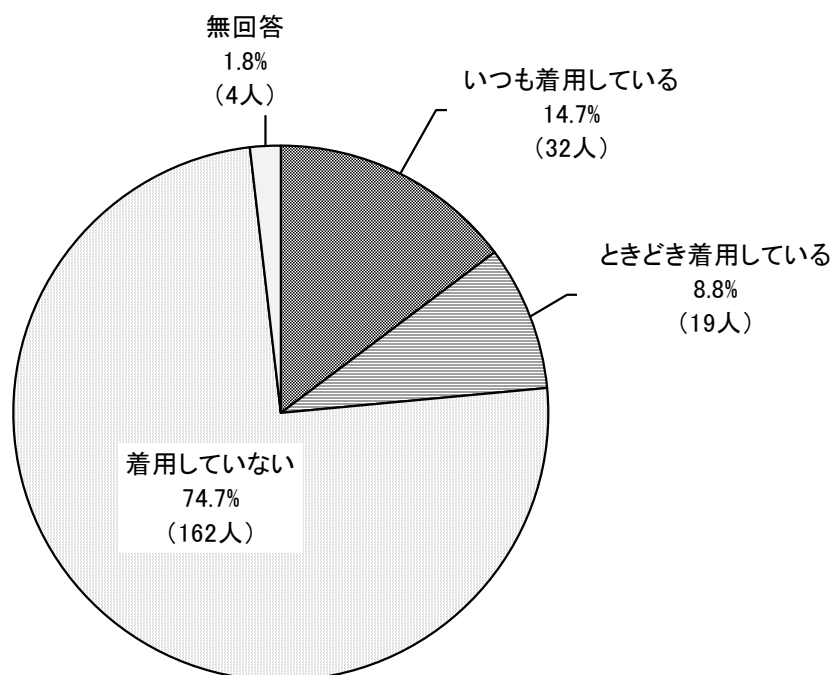
(3) ヘルメットの着用状況

(問 17 で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問 19 あなたは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。

あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

全 体
(n=217)



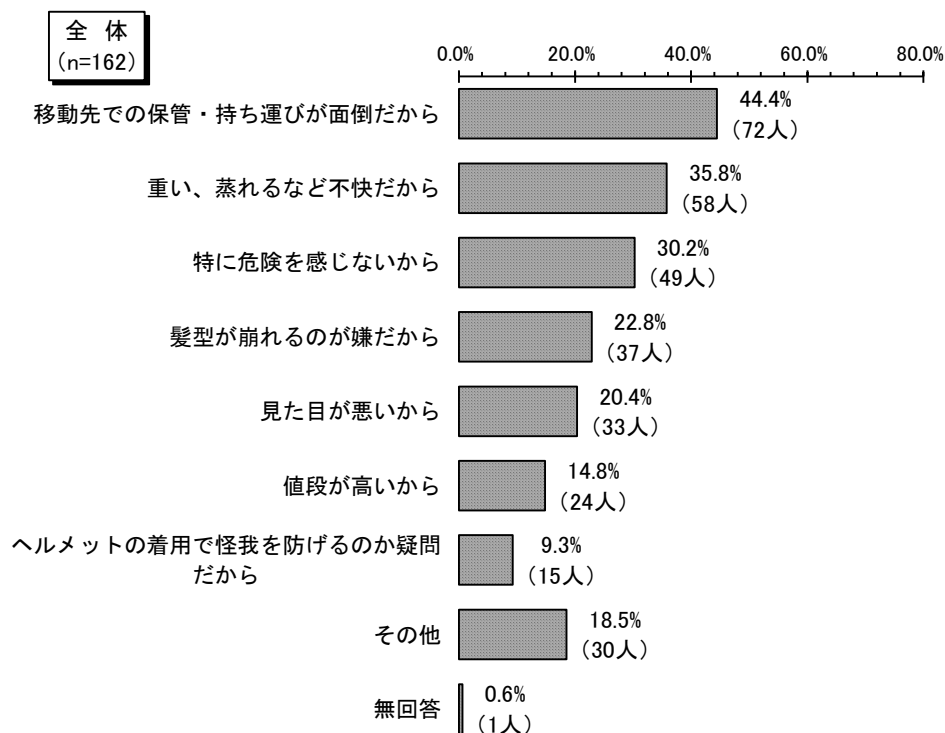
ヘルメットの着用状況は「いつも着用している」(14.7%)が1割半ば、「ときどき着用している」(8.8%)が1割弱、「着用していない」(74.7%)は7割半ばとなっている。

(4) ヘルメットを着用しない理由

(問 19 で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問 20 あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

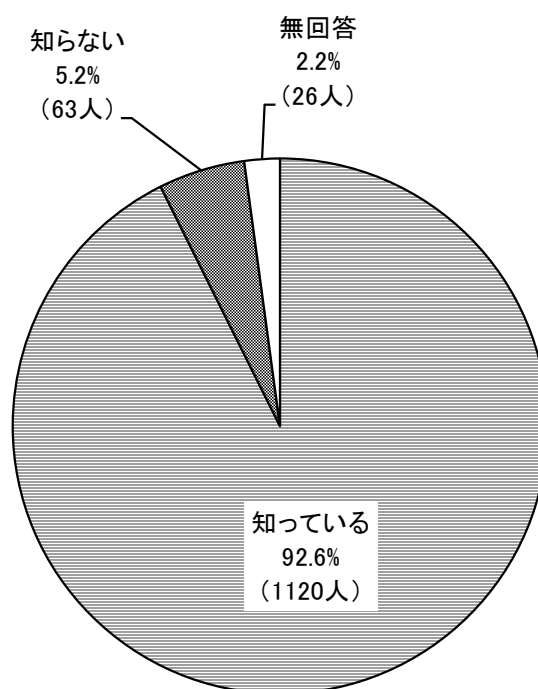


ヘルメットを着用しない理由は、「移動先での保管・持ち運びが面倒だから」(44.4%)が最も多く、4割半ばとなっている。以下、「重い、蒸れるなど不快だから」(35.8%)、「特に危険を感じないから」(30.2%)が3割台、「髪型が崩れるのが嫌だから」(22.8%)、「見た目が悪いから」(20.4%)が2割台などとなっている。

(5) ヘルメットの着用の努力義務化の認知状況

問 21 あなたは、道路交通法が改正され、令和5年4月1日から全ての自転車利用者の方を対象にヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

全 体
(n=1209)

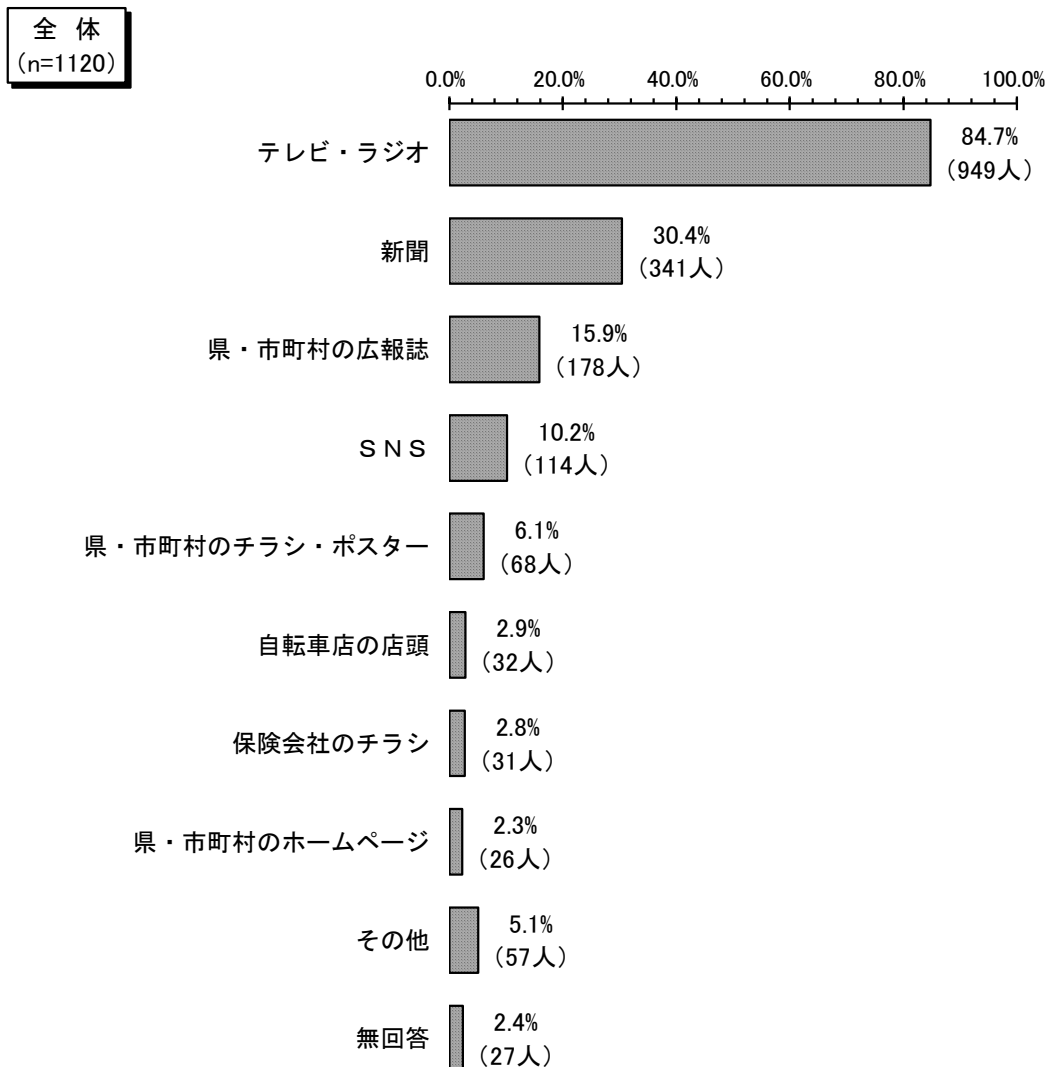


ヘルメットの着用の努力義務化の認知状況は「知っている」(92.6%)の割合がほとんどを占め、「知らない」は5.2%となっている。

(6) ヘルメットの着用の努力義務化の情報元

(問 21 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 22 あなたは、自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたことを何で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



ヘルメットの着用の努力義務化の情報元は、「テレビ・ラジオ」(84.7%)が最も多く、8割半ばとなっている。以下、「新聞」(30.4%)が3割台、「県・市町村の広報誌」(15.9%)、「S N S」(10.2%)が1割台などとなっている。

8. ユニバーサルデザインについて

(1) ユニバーサルデザインの認知状況

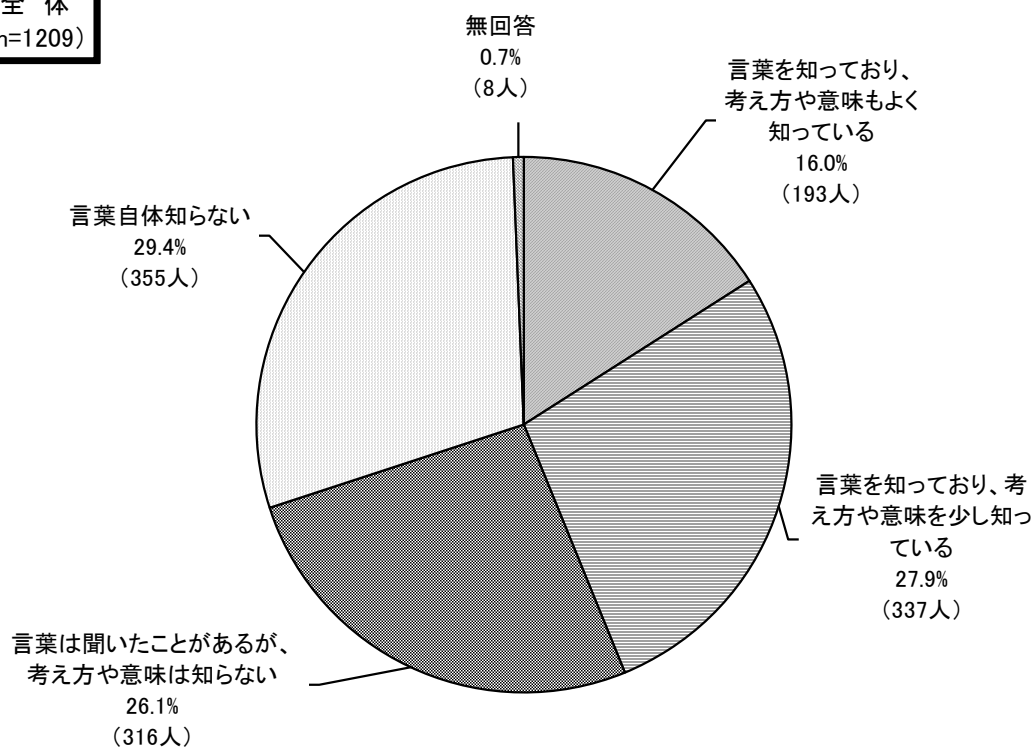
※【参考】「ユニバーサルデザイン」とは

はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、安全で安心して利用しやすいように、建物、製品、環境などを計画、設計する考え方のことをいいます。

問 24 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉について知っていますか。

あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

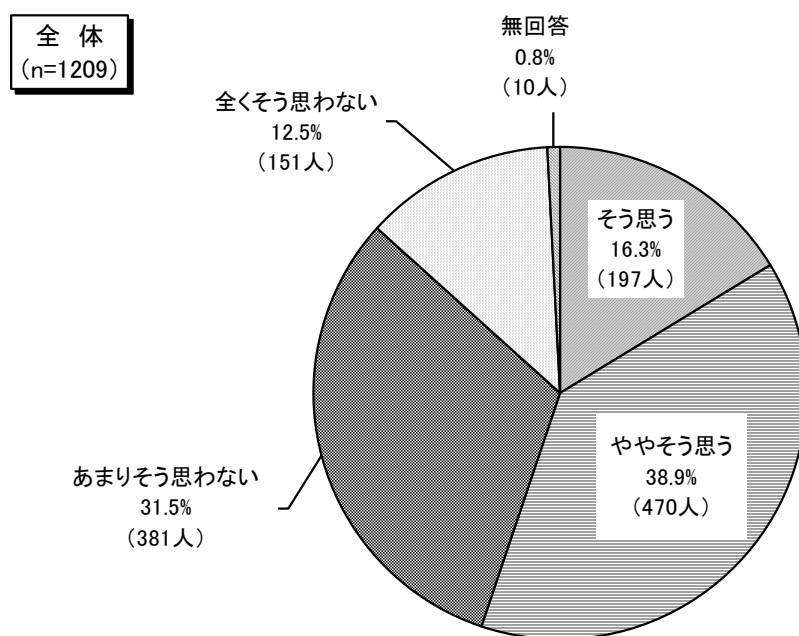
全 体
(n=1209)



ユニバーサルデザインという言葉の認知状況については、「言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている」(16.0%)、「言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」(27.9%)、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」(26.1%)を合わせると約7割の人に認知されているが、「言葉自体知らない」(29.4%)は約3割となっている。

(2) 10年前と比べた身近な施設や乗り物の使いやすさ

問 25 あなたは、日常で使う製品、身近な施設（官公共施設・病院・スーパー・駅舎・歩道など）、バスなどの乗り物について、10年前と比べて、誰もが使いやすくなっていると感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



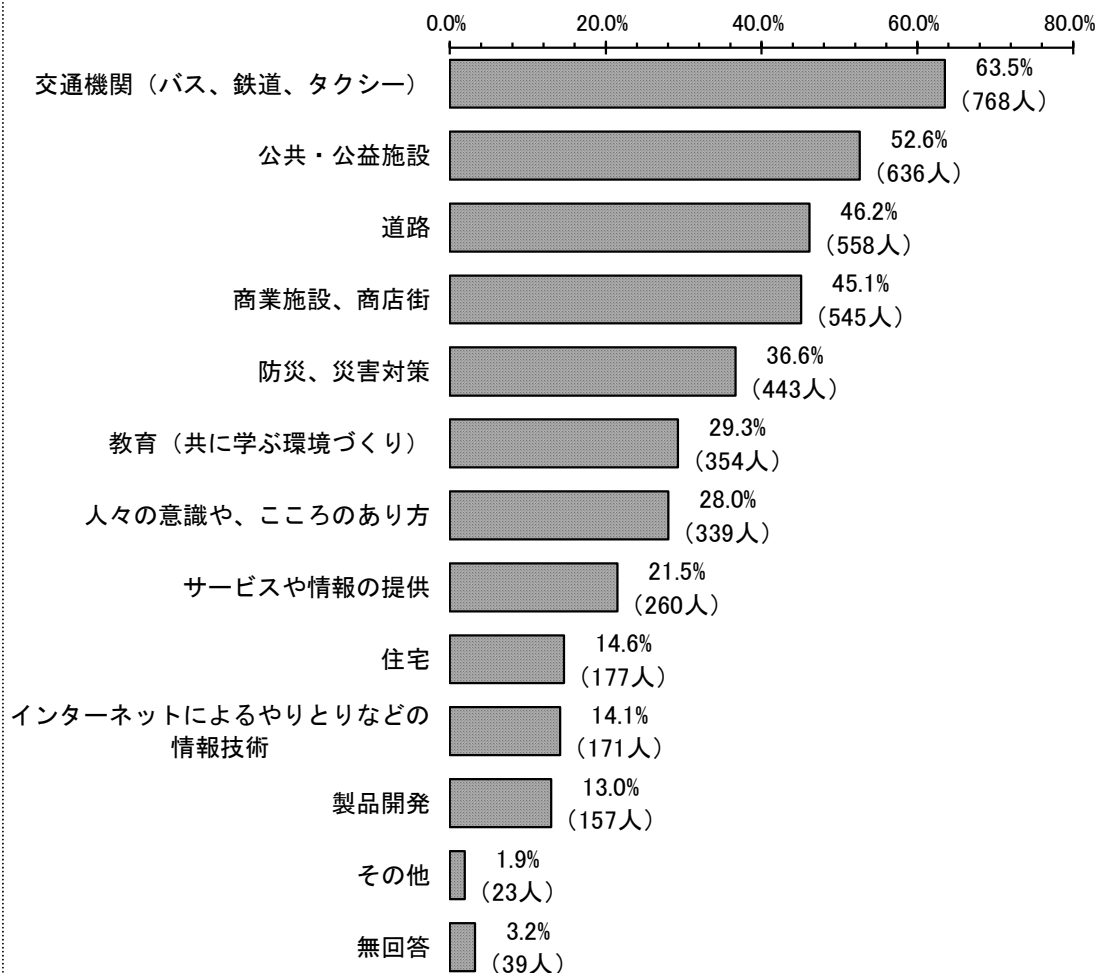
10年前と比べて身近な施設や乗り物が使いやすくなっていると感じるかについては、「思う」と「やや思う」を合わせた『思う』計（55.2%）の割合は、5割以上となっている。

(3) ユニバーサルデザインの導入が必要だと考えるもの

問 26 あなたが、県内で、ユニバーサルデザインの考え方を導入することが必要だと考えるのはどれですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全 体
(n=1209)

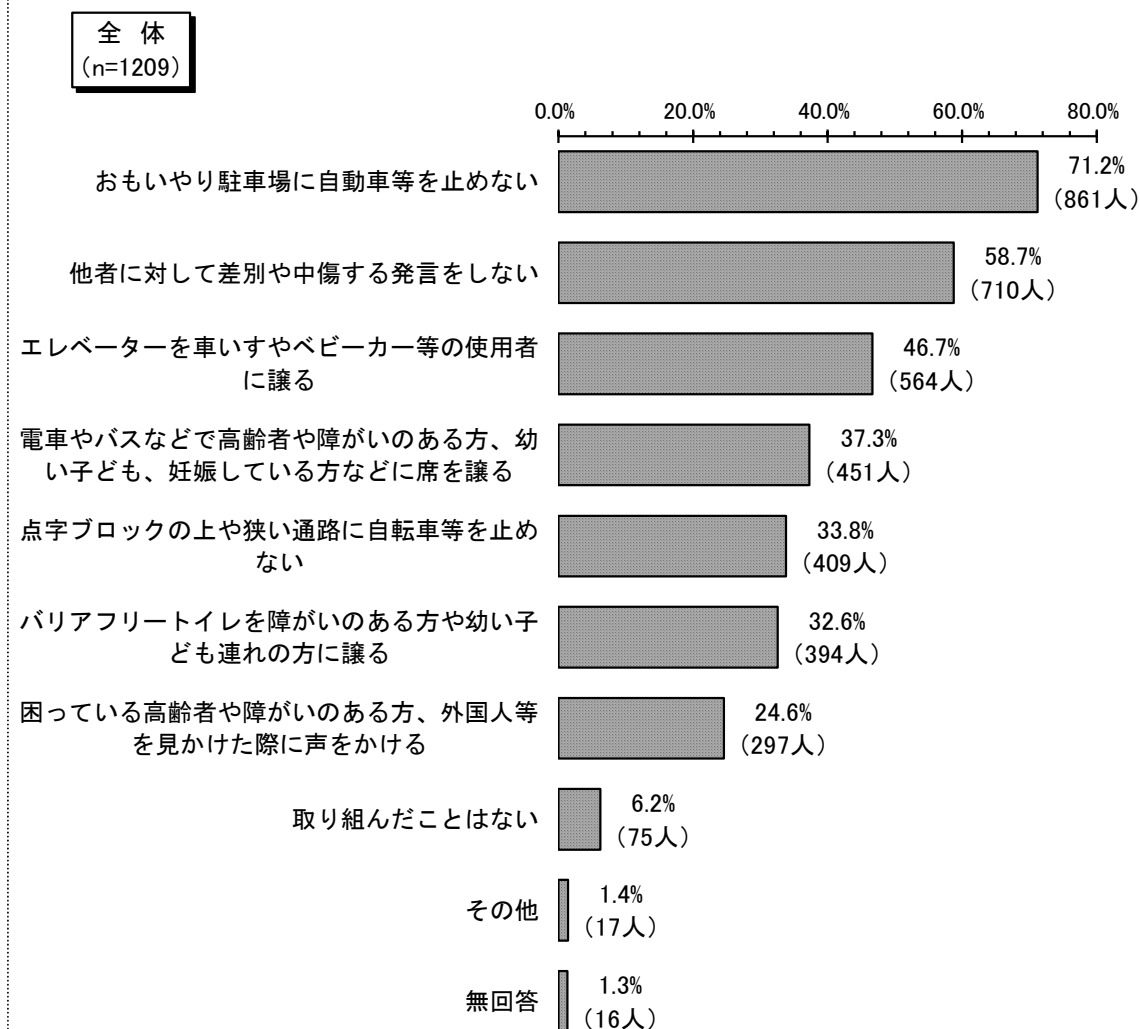


ユニバーサルデザインの導入が必要だと考えるものは、「交通機関 (バス、鉄道、タクシー)」(63.5%) が最も多く、6 割半ばとなっている。以下、「公共・公益施設」(52.6%) が 5 割台、「道路」(46.2%)、「商業施設、商店街」(45.1%) が 4 割台、「防災、災害対策」(36.6%) が 3 割台などとなっている。

(4) 高齢者等に対して気配りに取り組んだこと

問 27 あなたは、過去 1 年間に高齢者や障がいのある方、妊娠している方、幼い子どもを連れた方、外国の方等に対して、次のような気配りに取り組んだことがありますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

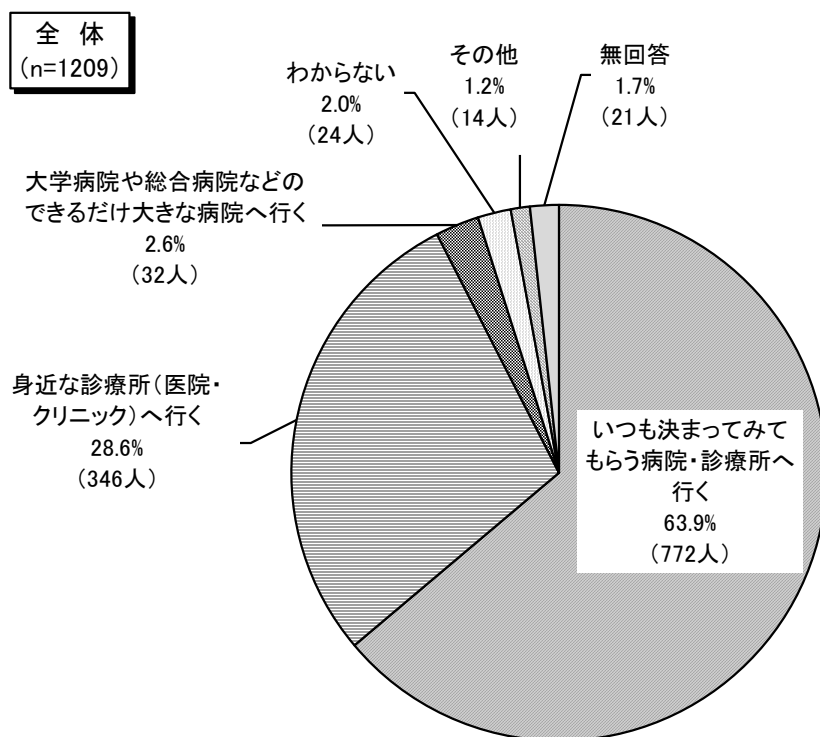


過去 1 年間に高齢者や障がいのある方、妊娠している方、幼い子どもを連れた方、外国の方等に対して気配りに取り組んだことについて、「おもいやり駐車場に自動車等を止めない」(71.2%) が最も多く、約 7 割となっている。以下、「他者に対して差別や中傷する発言をしない」(58.7%) が 5 割台、「エレベーターを車いすやベビーカー等の使用者に譲る」(46.7%) が 4 割台、「電車やバスなどで高齢者や障がいのある方、幼い子ども、妊娠している方などに席を譲る」(37.3%)、「点字ブロックの上や狭い通路に自転車等を止めない」(33.8%)、「バリアフリースイレを障がいのある方や幼い子ども連れの方に譲る」(32.6%) が 3 割台などとなっている。

9. 地域の医療について

(1) 体調不良時の対応

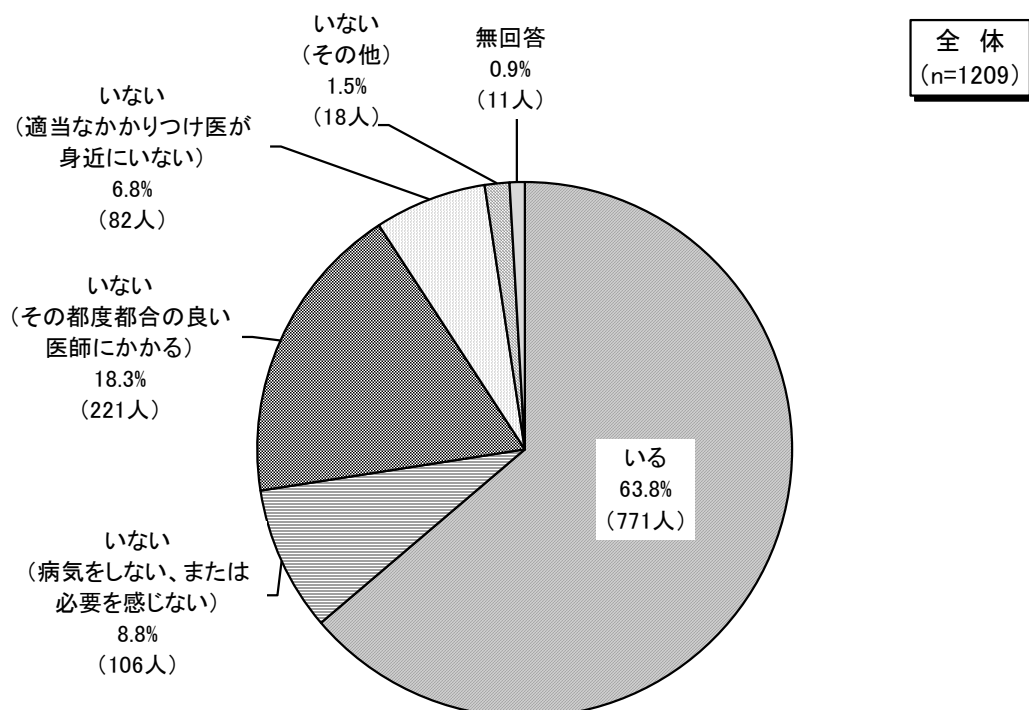
問 28 あなたが、もし体調が悪くなり、医師にみてもらいたいときはどうしますか。
あてはまるもの 1 つに○をつけてください。



体調不良時の対応については「いつも決まってみてもらう病院・診療所へ行く」(63.9%)の割合が最も多く、6割強となっている。次いで、「身近な診療所(医院・クリニック)へ行く」(28.6%)が3割弱となっている。

(2) かかりつけ医の有無

問 29 あなたには、日常的な体調不良やけがへの対応などを行ってくれる医師
(かかりつけ医) いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

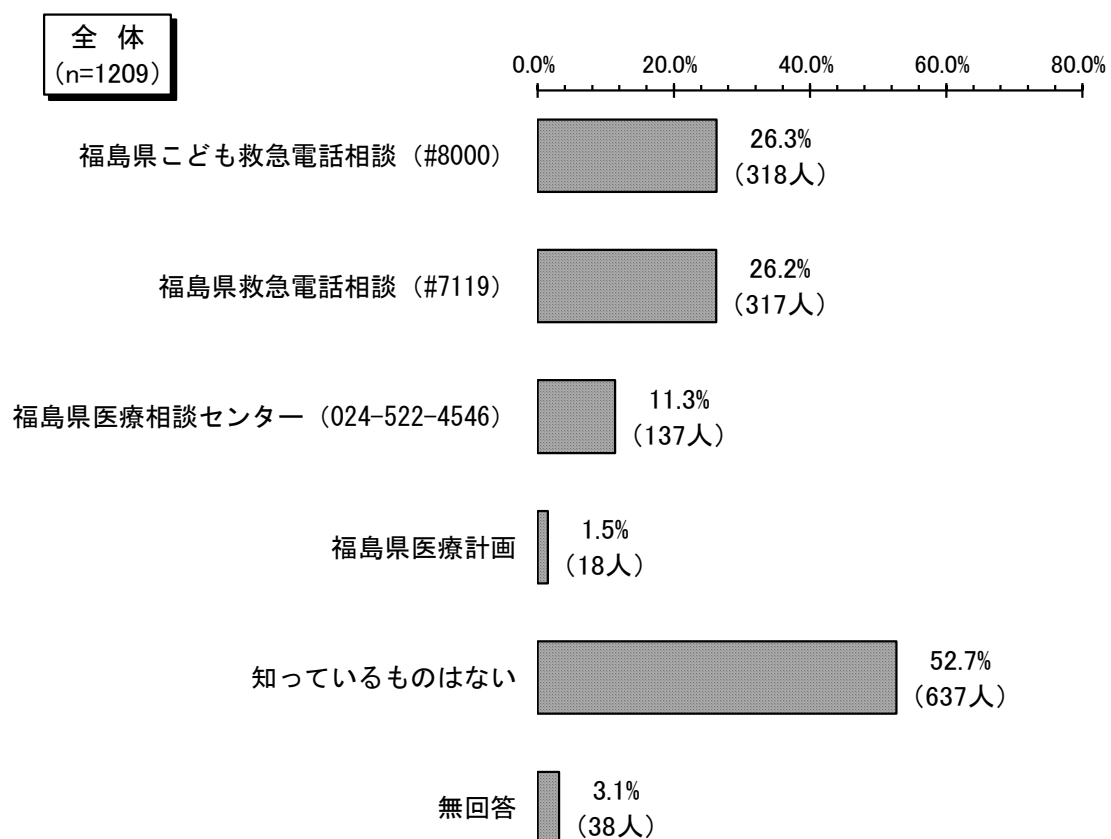


かかりつけ医の有無については「いる」(63.8%)の割合が6割強を占めている。以下、「いない(その都度都合の良い医師にかかる)」(18.3%)、「いない(病気をしない、または必要を感じない)」(8.8%)、「いない(適当なかかりつけ医が身近にいない)」(6.8%)、「いない(その他)」(1.5%)となっている。

(3) 知っている医療関連サービス

問 30 あなたは以下の医療関連サービス等を知っていますか。

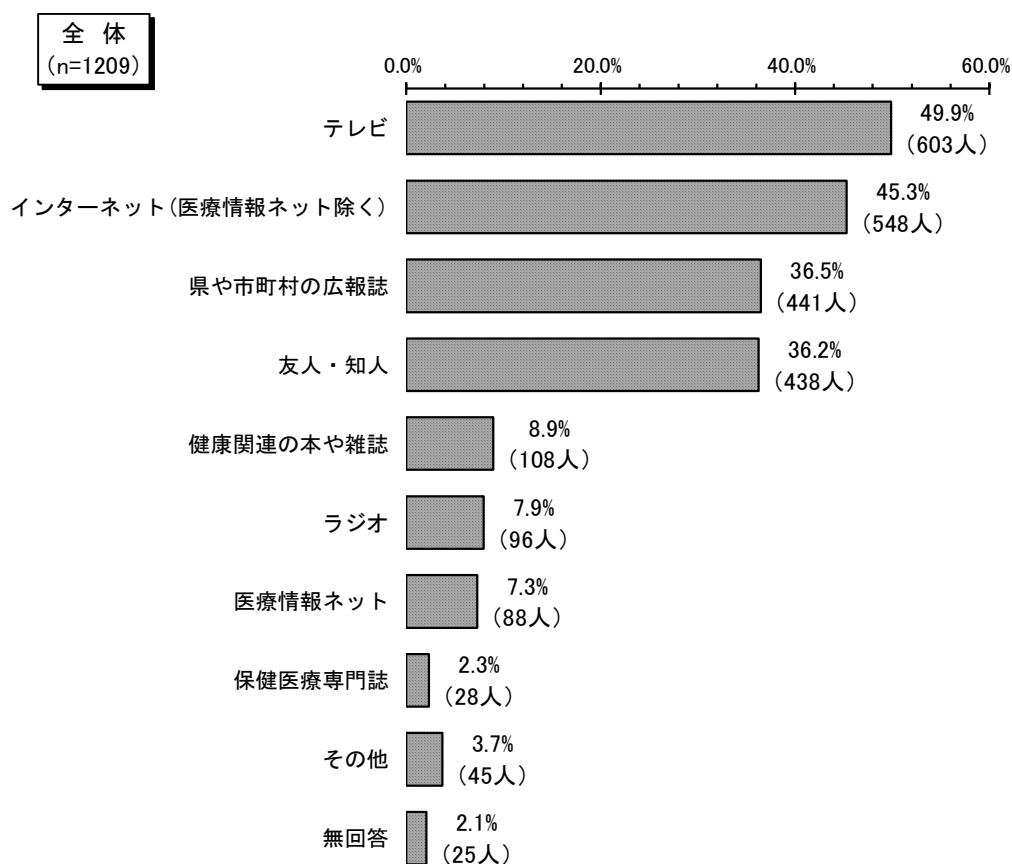
知っているものすべてに○をつけてください。



知っている医療関連サービス等について、「福島県子ども救急電話相談 (#8000)」(26.3%)、「福島県救急電話相談 (#7119)」(26.2%) の割合が 2 割半ばで高く、次いで「福島県医療相談センター (024-522-4546)」(11.3%) で続いている。「福島県医療計画」は 1.5% とわずかであった。「知っているものはない」(52.7%) は 5 割以上となった。

(4) 保健や医療に関する情報の入手方法

問 31 あなたは、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手していますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



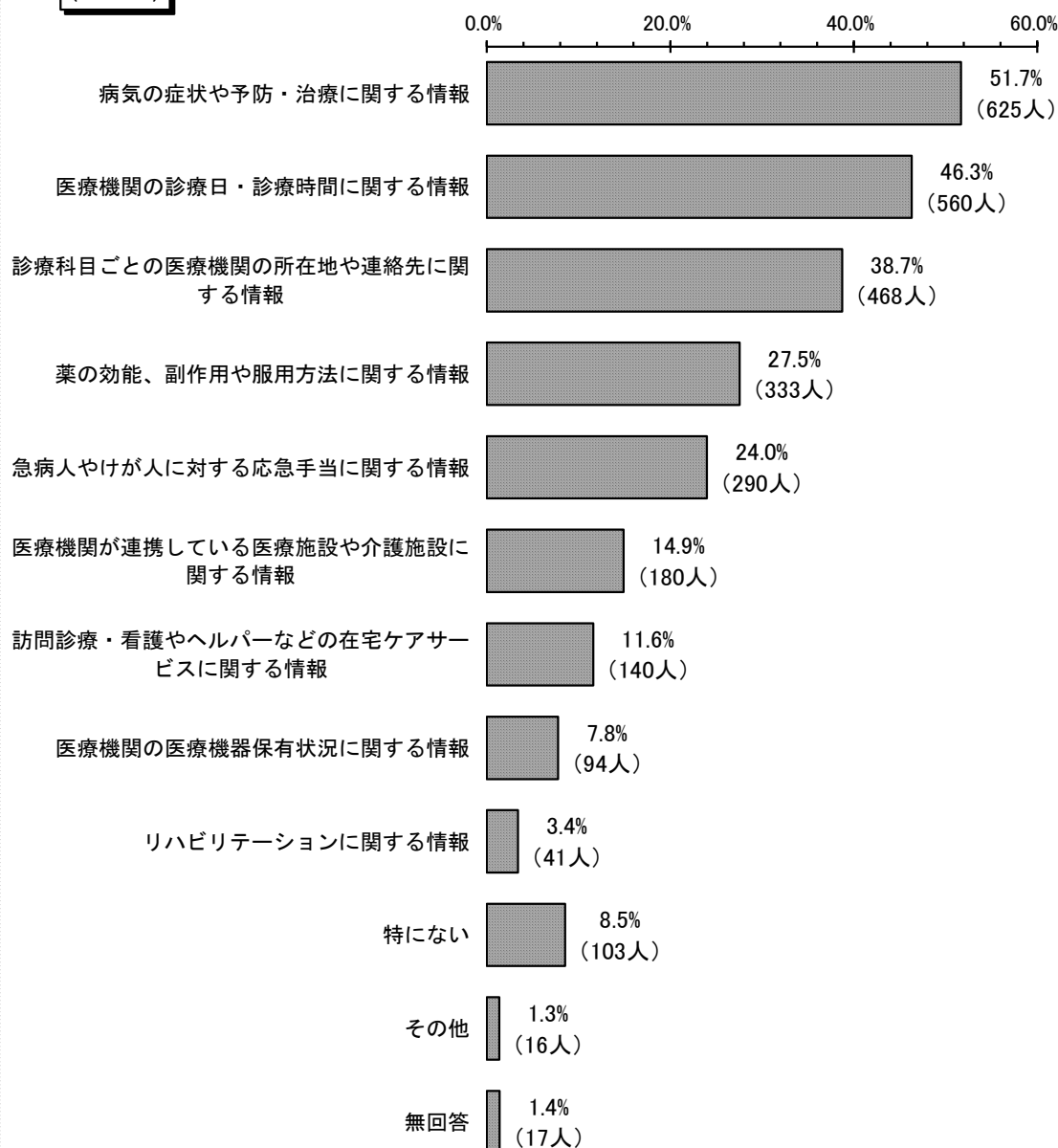
保健や医療に関する情報の入手方法について、「テレビ」(49.9%)の割合が最も多く、約半数となっている。次いで、「インターネット(医療情報ネット除く)」(45.3%)が4割台、「県や市町村の広報誌」(36.5%)、「友人・知人」(36.2%)が3割台などと続いている。

(5) 保健や医療に関して知りたい情報

問 32 あなたが知りたい保健や医療に関する情報は何か。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全 体
(n=1209)



保健や医療に関して知りたい情報について、「病気の症状や予防・治療に関する情報」(51.7%)の割合が最も多く、約5割となっている。次いで、「医療機関の診療日・診療時間に関する情報」(46.3%)が4割台、「診療科目ごとの医療機関の所在地や連絡先に関する情報」(38.7%)が3割台、「薬の効能、副作用や服用方法に関する情報」(27.5%)、「急病人やけが人に対する応急手当に関する情報」(24.0%)が2割台などと続いている。

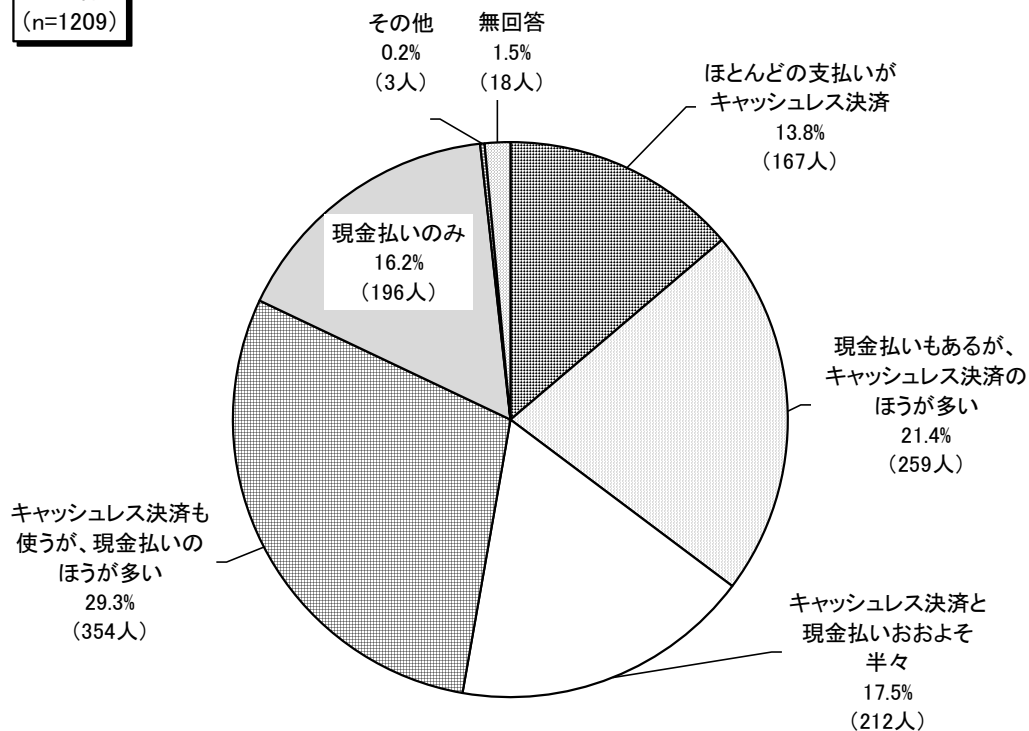
10. キャッシュレス決済の利用状況について

(1) キャッシュレス決済の利用状況

問 33 普段の生活で、キャッシュレス決済をどの程度利用していますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

全 体
(n=1209)

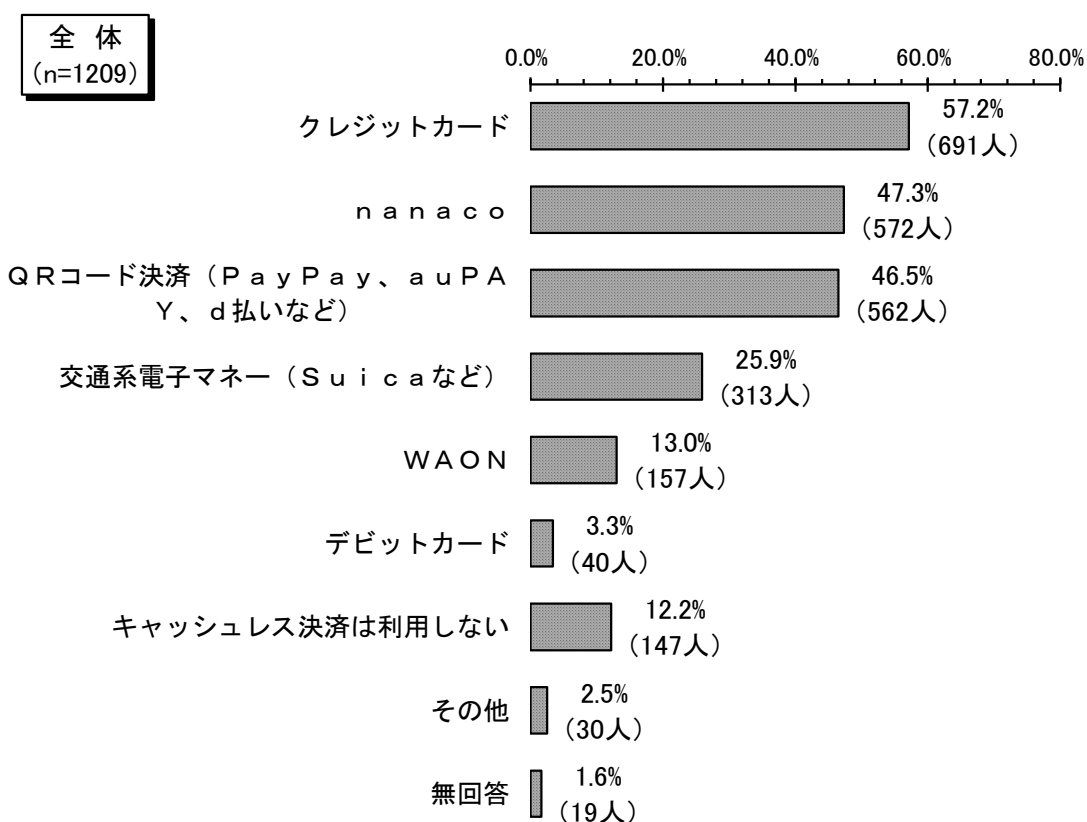


キャッシュレス決済の利用状況について、「キャッシュレス決済も使うが、現金払いのほうが多い」(29.3%)の割合が最も多く、約3割となっている。以下「現金払いもあるが、キャッシュレス決済のほうが多い」(21.4%)、「キャッシュレス決済と現金払いおおよそ半々」(17.5%)、「現金払いのみ」(16.2%)、「ほとんどの支払いがキャッシュレス決済」(13.8%)となっている。

(2) 利用しているキャッシュレス決済について

問 34 利用しているキャッシュレス決済はどれですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください

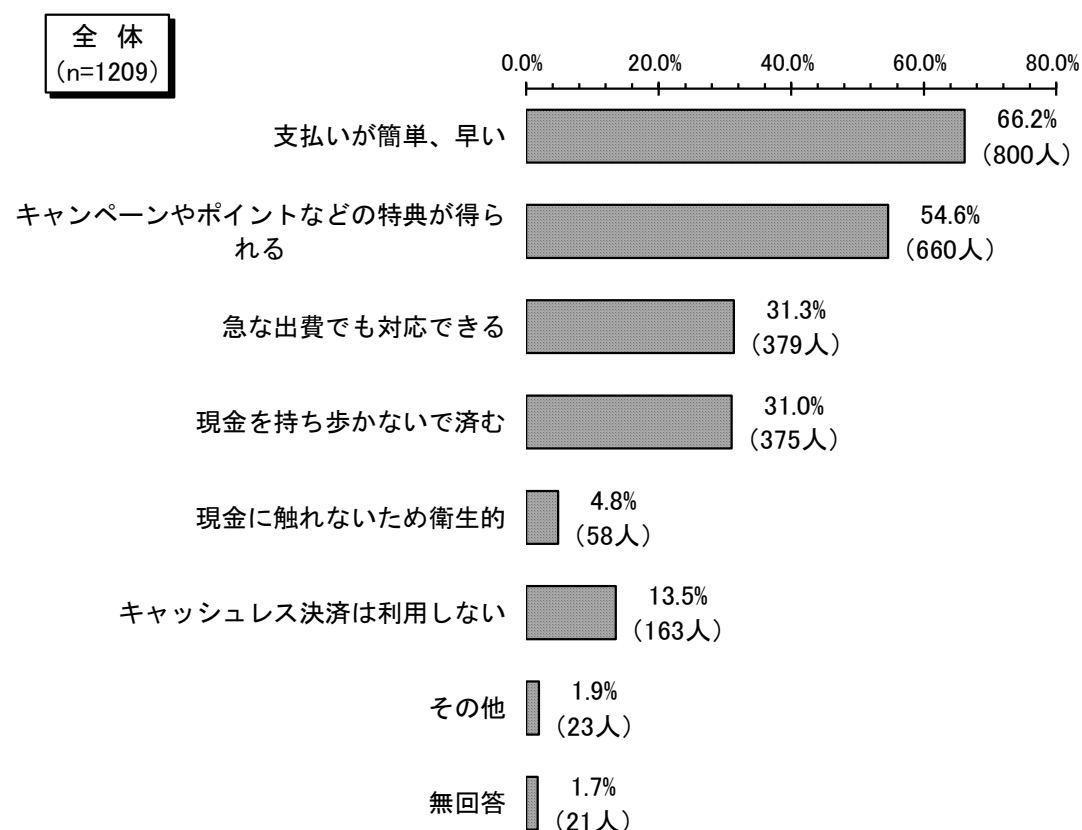


利用しているキャッシュレス決済について、「クレジットカード」(57.2%)の割合が最も多く、半数以上となっている。次いで、「n a n a c o」(47.3%)、「QRコード決済 (P a y P a y、a u P A Y、d 払いなど)」(46.5%)が4割台、「交通系電子マネー (S u i c a など)」(25.9%)が2割台などと続いている。

(3) キャッシュレス決済を利用する理由

問 35 キャッシュレス決済を利用する理由は次のうちどれですか。

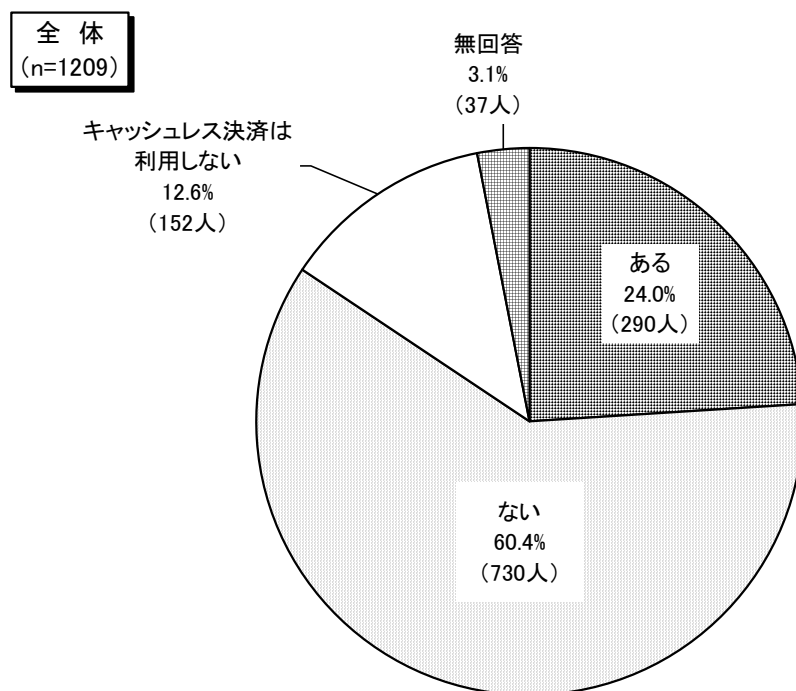
あてはまるものすべてに○をつけてください。



キャッシュレス決済を利用する理由について、「支払いが簡単、早い」(66.2%)の割合が最も多く、6割半ばとなっている。次いで、「キャンペーンやポイントなどの特典が得られる」(54.6%)が5割台、「急な出費でも対応できる」(31.3%)、「現金を持ち歩かないで済む」(31.0%)が3割台などと続いている。

(4) キャッシュレス決済が利用できず購入をあきらめたことの有無

問 36 店舗等でキャッシュレス決済が利用できないため、商品購入等をあきらめたことはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



キャッシュレス決済が利用できず商品購入をあきらめたことの有無について、「ある」(24.0%)の割合は2割半ばとなっている。

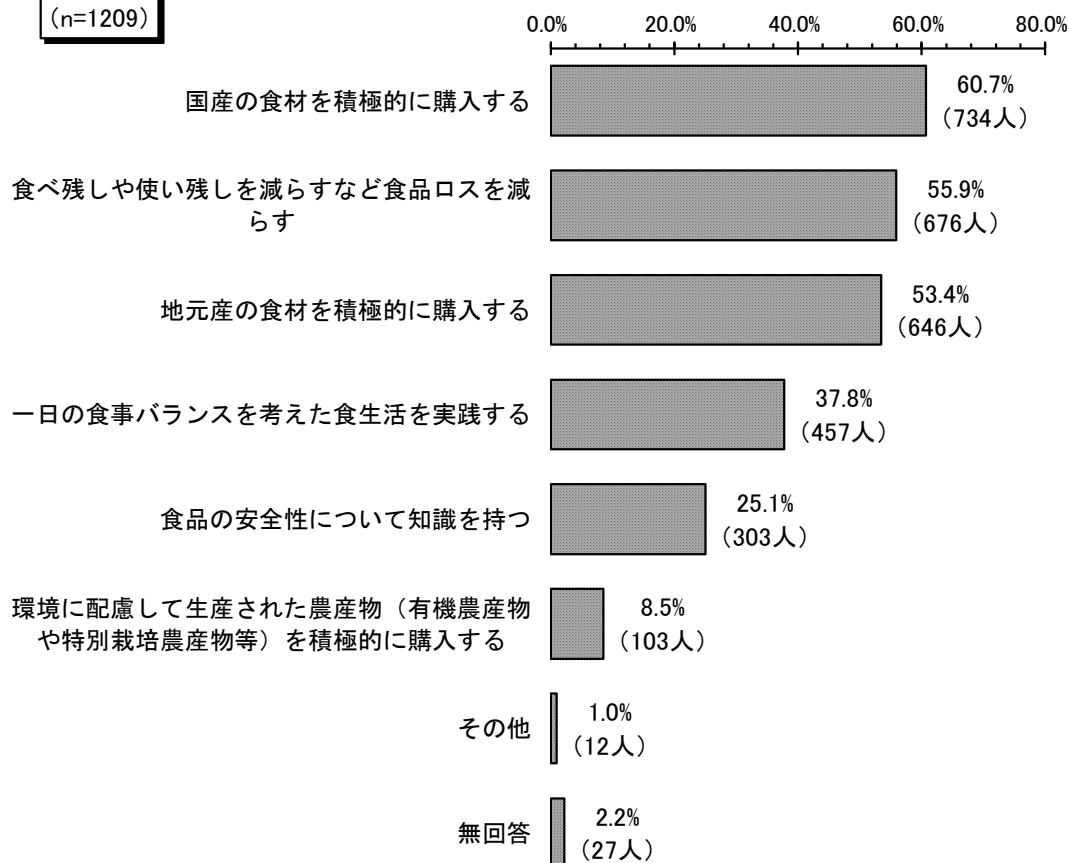
1 1. 農林水産業について

(1) 農林水産物の購入や食生活で実践していること

問 37 ふだん、あなたが農林水産物を購入する際や食生活において、以下の行動のうち実践している又は実践したいと考えていることはありますか。

あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。

全 体
(n=1209)



※【参考】有機農産物・特別栽培農産物とは

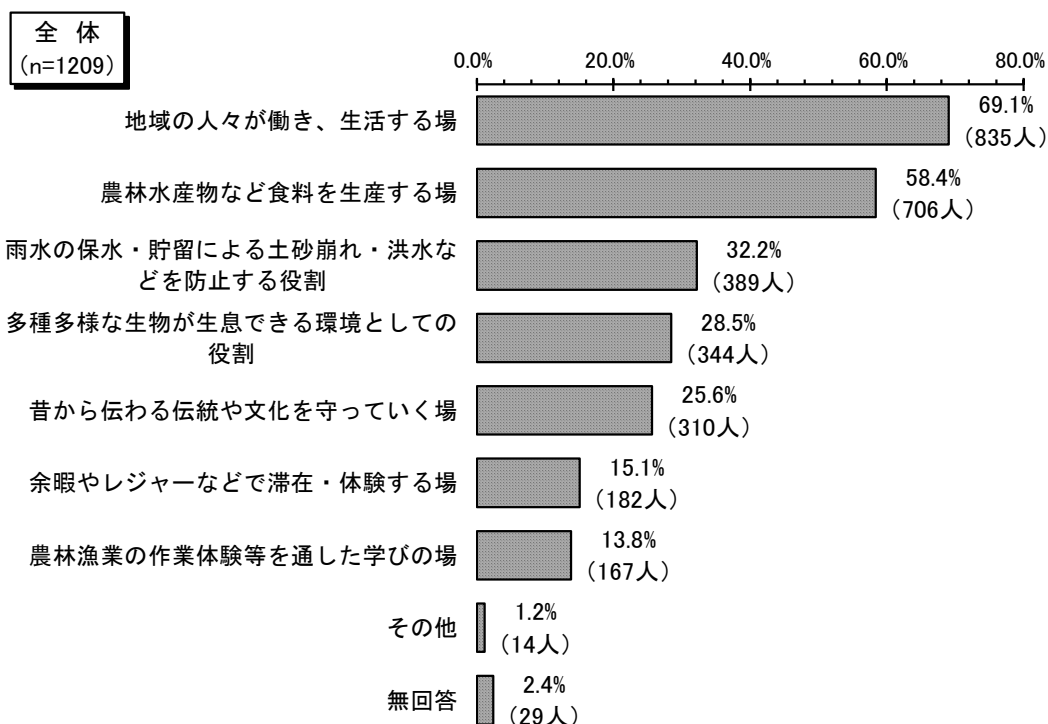
どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの、特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量をこれまでより半分以下に減らして栽培されたもののこと。

農林水産物の購入や食生活で実践していることは、「国産の食材を積極的に購入する」(60.7%) が最も多く、約6割となっている。次いで、「食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす」(55.9%)、「地元産の食材を積極的に購入する」(53.4%) が5割台、「一日の食事バランスを考えた食生活を実践する」(37.8%) が3割台などとなっている。

(2) 農山漁村の役割として期待すること

問 38 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。

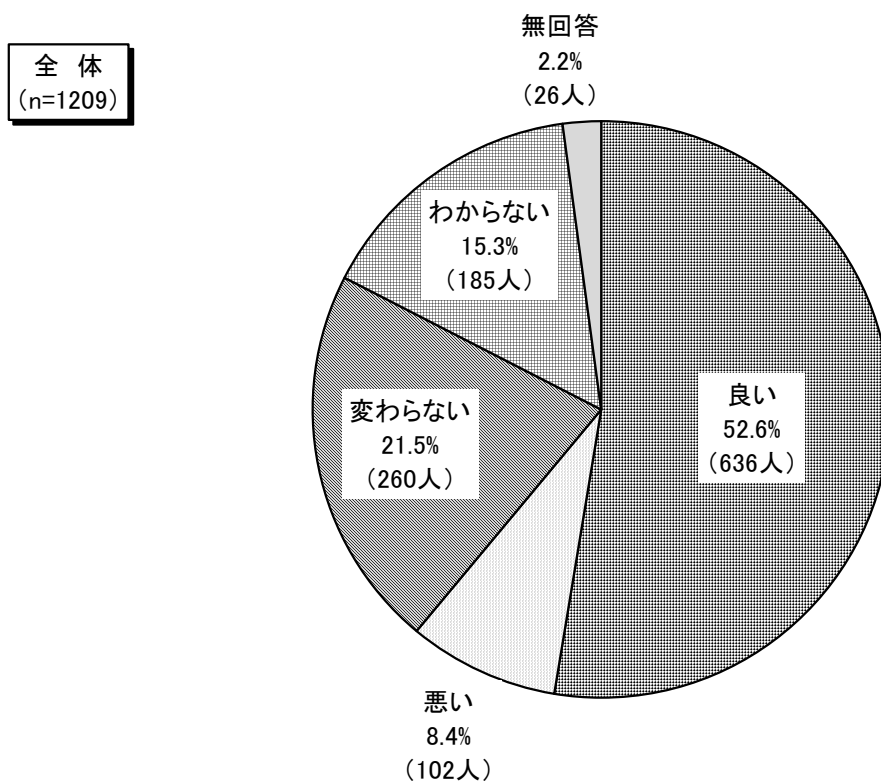


農山漁村の役割として期待することは、「地域の人々が働き、生活する場」(69.1%)が最も多く、約7割となっている。以下、「農林水産物など食料を生産する場」(58.4%)が5割台、「雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割」(32.2%)が3割台、「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」(28.5%)、「昔から伝わる伝統や文化を守っていく場」(25.6%)が2割台などとなっている。

1 2. 地域社会の安全・安心（治安）について

（1）居住地域の治安状況

問 39 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



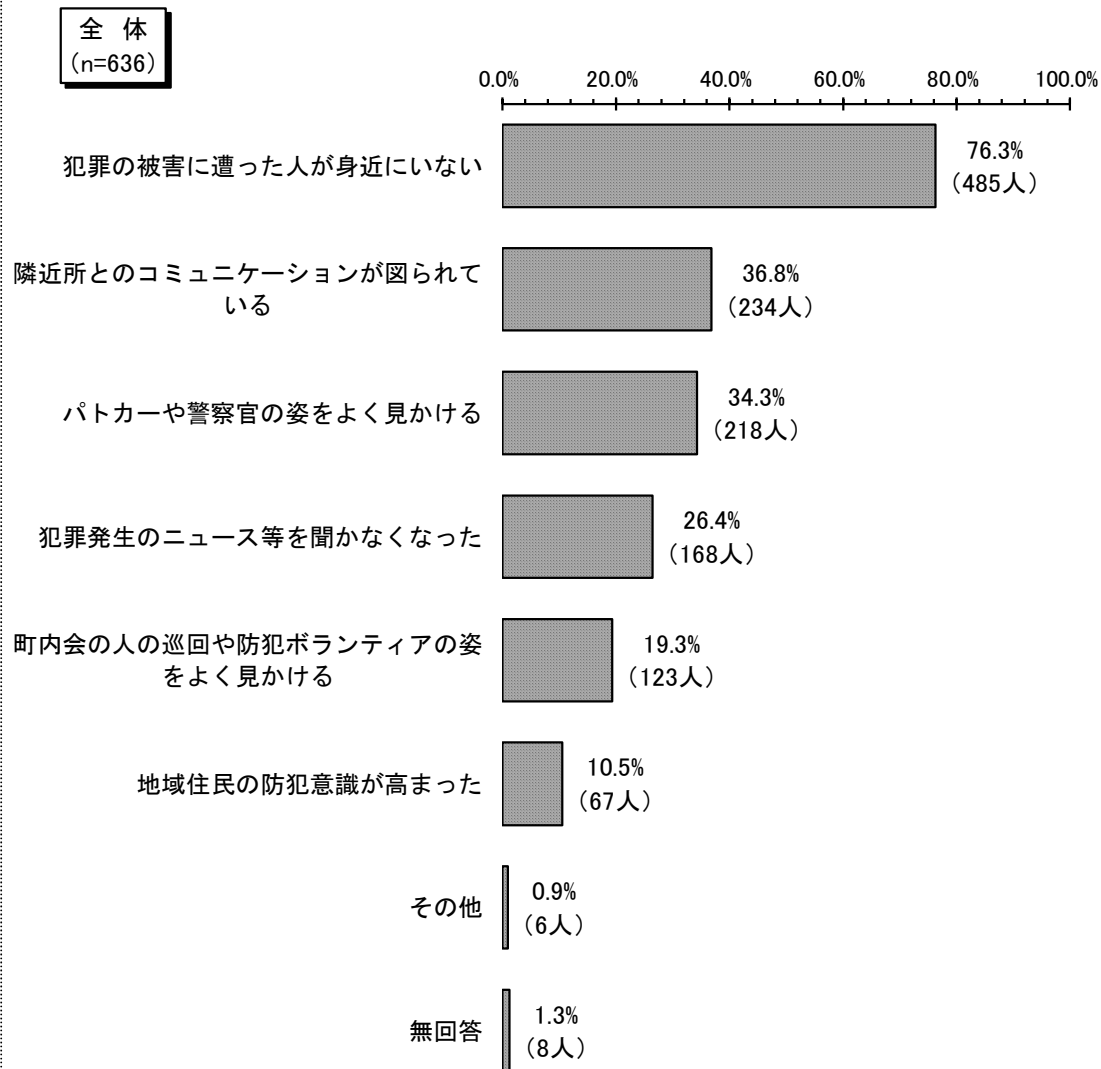
現在の居住地域の治安状況が「良い」（52.6％）と思う人は5割強となっている。
一方、治安状況が「悪い」（8.4％）と思う人は1割未満にとどまっている。

(2) 治安状況が良いと思う理由

(問 39 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 40-1 問 39 で、良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの 3 つまで○をつけてください。



治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(76.3%) が最も多く、7割半ばとなっている。以下、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(36.8%)、「パトカーや警察官の姿をよく見かける」(34.3%) が、3割半ばなどとなっている。

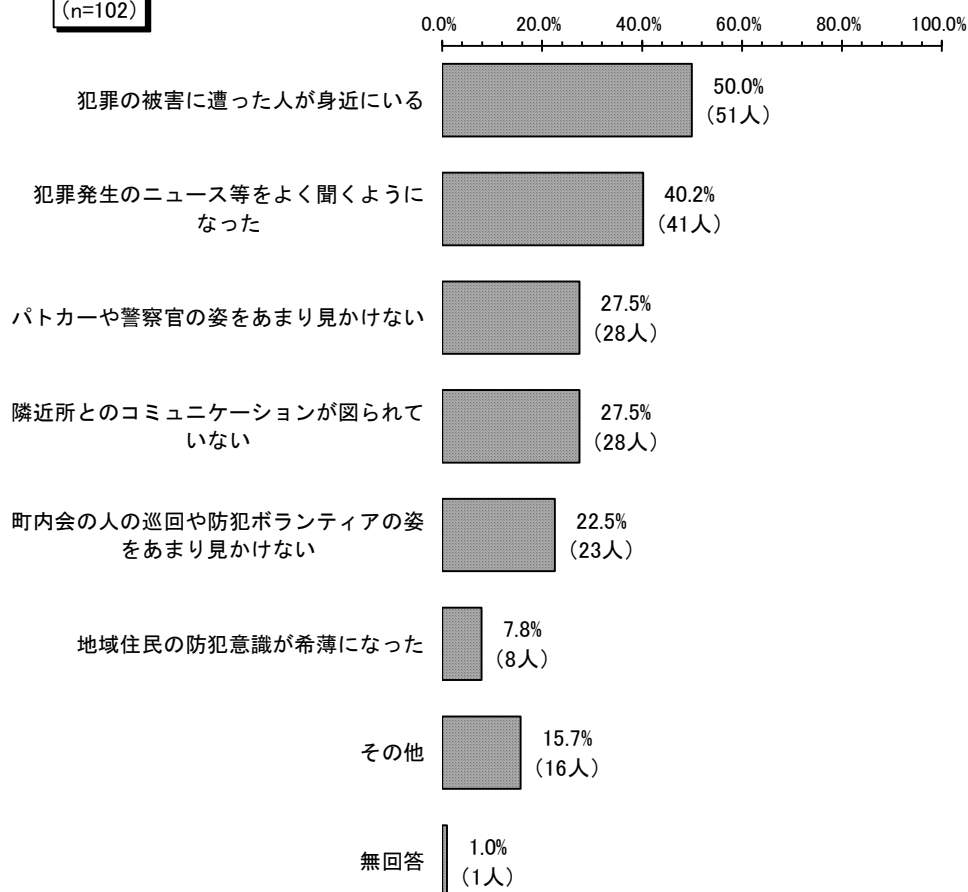
(3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 39 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 40-2 問 39 で、悪いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの 3 つまで○をつけてください。

全 体
(n=102)

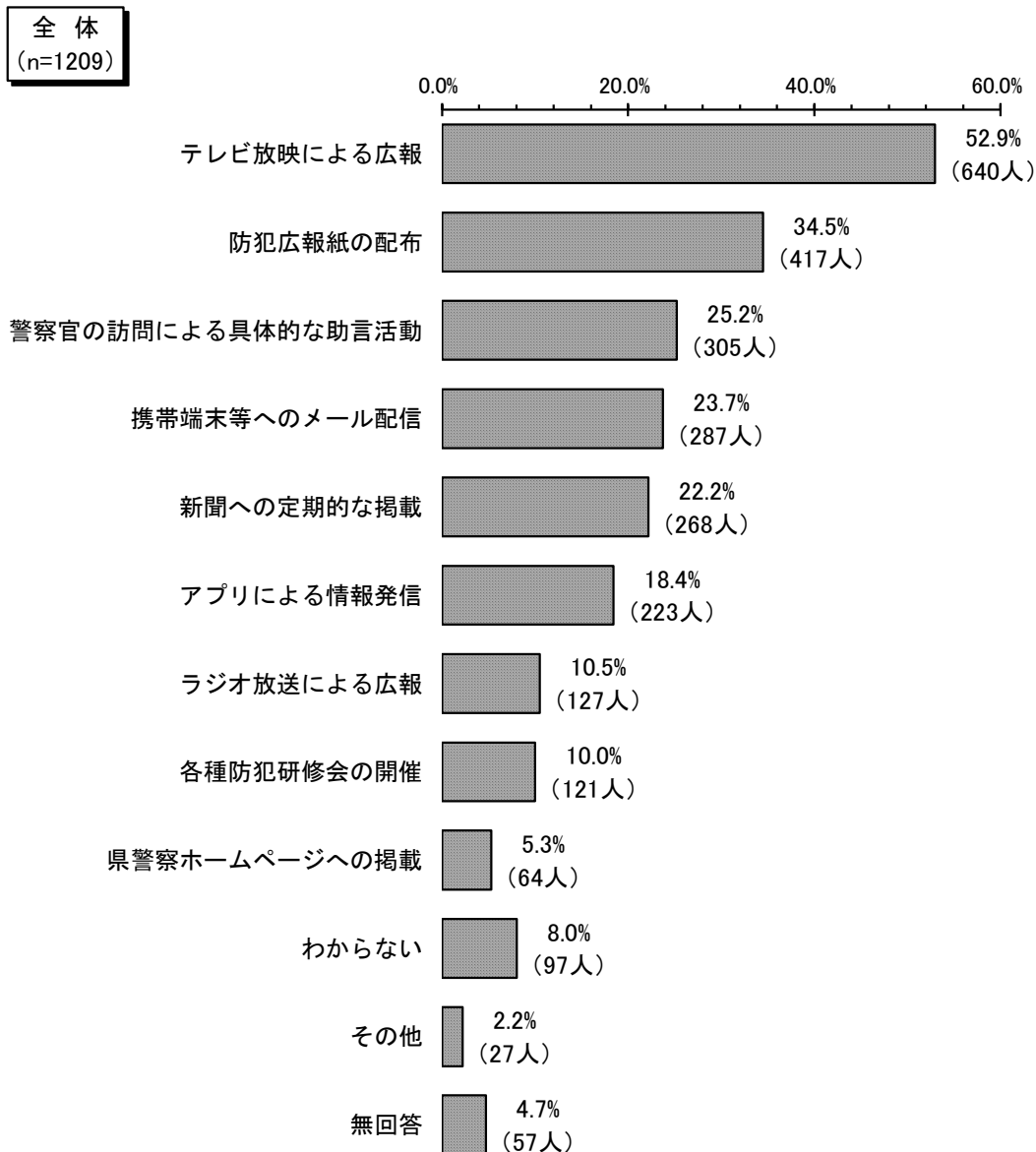


治安状況が悪いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」(50.0%) が最も高く、5割となっている。以下、「犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった」(40.2%) が4割台などとなっている。

(4) 犯罪発生状況等の情報提供方法

問 41 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

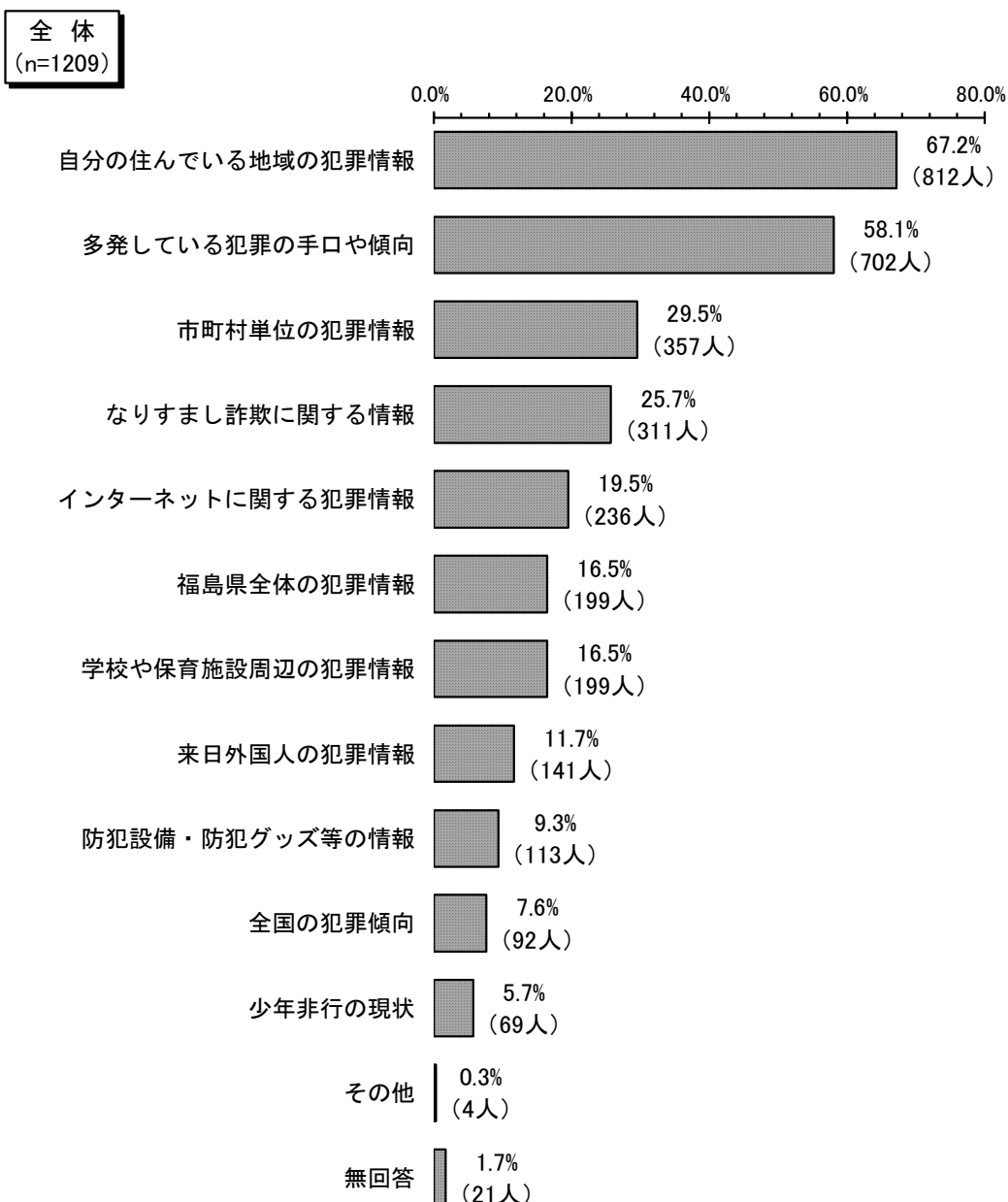


犯罪発生状況等の情報提供方法については、「テレビ放映による広報」(52.9%)が最も高く、5割強となっている。以下、「防犯広報紙の配布」(34.5%)が3割台、「警察官の訪問による具体的な助言活動」(25.2%)、「携帯端末等へのメール配信」(23.7%)、「新聞への定期的な掲載」(22.2%)が2割台などとなっている。

(5) 犯罪に関して知りたい情報

問 42 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



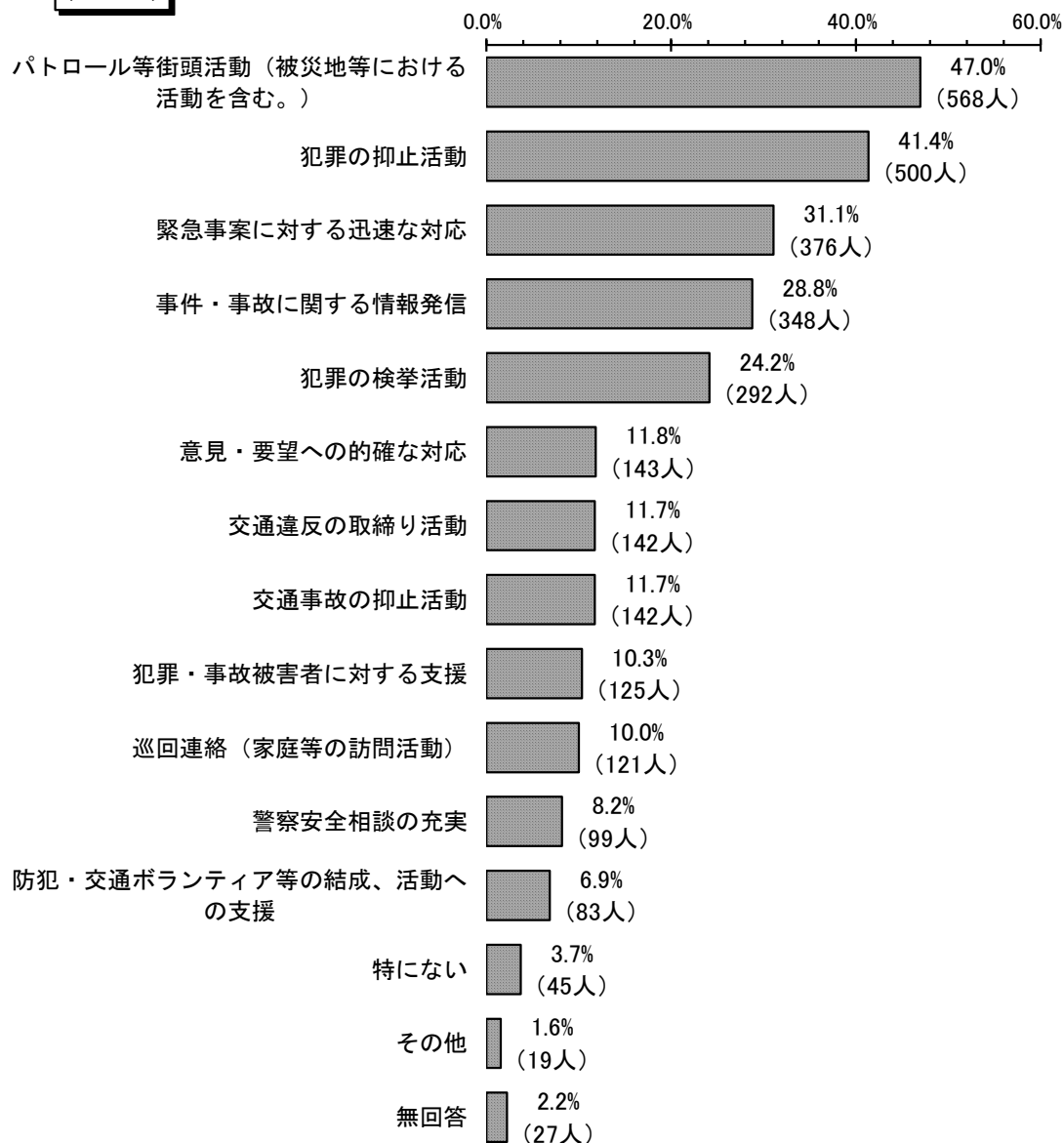
犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(67.2%)が最も高く、7割弱となっている。次いで、「多発している犯罪の手口や傾向」(58.1%)が約6割となっている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(29.5%)、「なりすまし詐欺に関する情報」(25.7%)が2割台などとなっている。

(6) 警察に強化してほしい活動

問 43 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全 体
(n=1209)



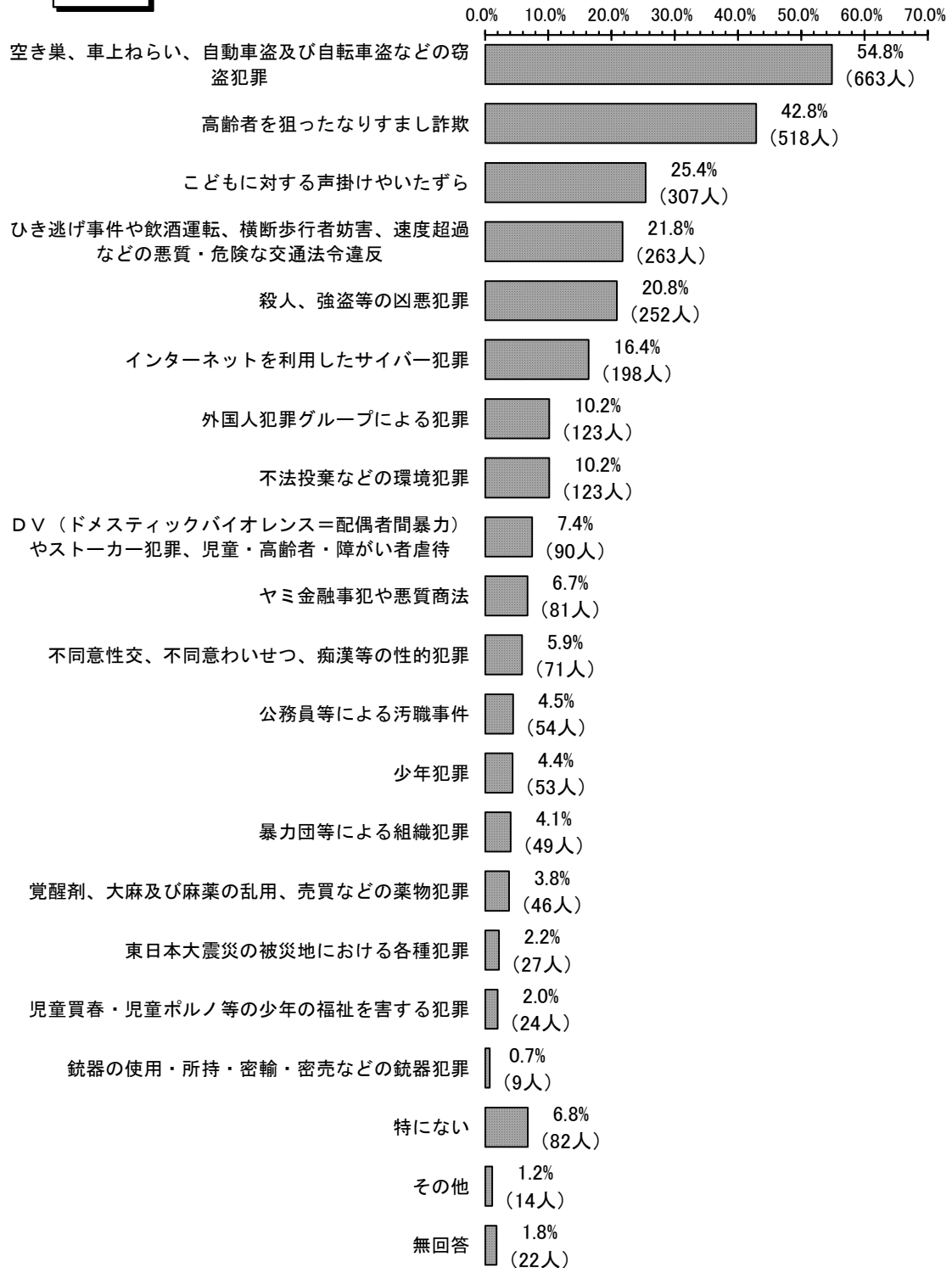
警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動（被災地等における活動を含む。）」（47.0%）の割合が最も多く、5割弱となっている。以下、「犯罪の抑止活動」（41.4%）が4割台、「緊急事案に対する迅速な対応」（31.1%）が3割台、「事件・事故に関する情報発信」（28.8%）、「犯罪の検挙活動」（24.2%）が2割台などとなっている。

(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

問 44 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全 体
(n=1209)

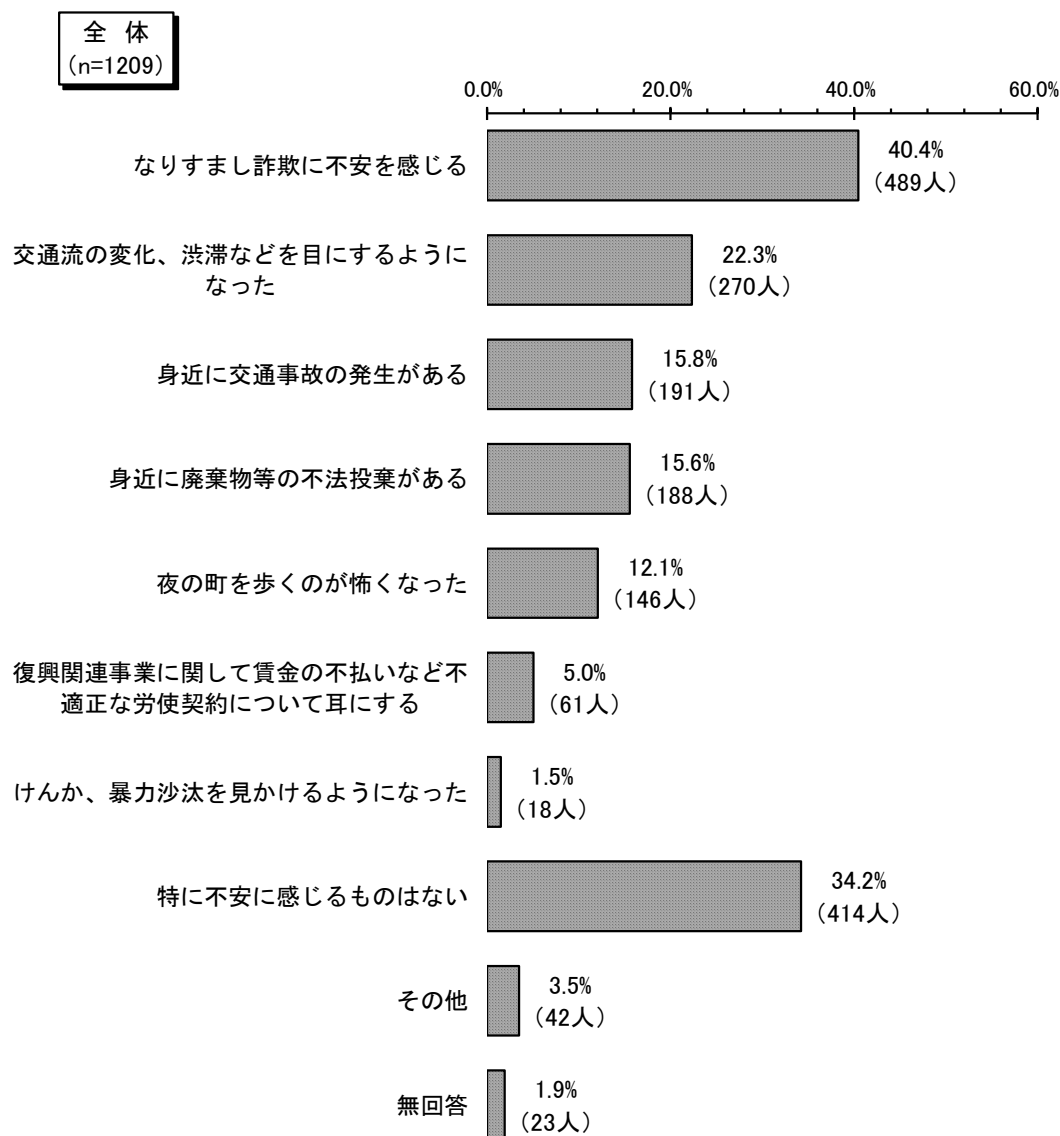


重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣、車上ねらい、自動車盗及び自転車盗などの窃盗犯罪」(54.8%)が最も高く、5割半ばとなっている。以下、「高齢者を狙ったなりすまし詐欺」(42.8%)が4割強、「こどもに対する声掛けやいたずら」(25.4%)、「ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通法令違反」(21.8%)、「殺人、強盗等の凶悪犯罪」(20.8%)が2割台などとなっている。

(8) 身近に感じる不安

問 45 震災から 14 年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの 3 つまで○をつけてください。



身近に感じる不安については、「なりすまし詐欺に不安を感じる」(40.4%) が最も多く、約 4 割となっている。次いで、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」(22.3%) が 2 割台、「身近に交通事故の発生がある」(15.8%)、「身近に廃棄物等の不法投棄がある」(15.6%)、「夜の町を歩くのが怖くなった」(12.1%) が 1 割台で続いている。なお、「特に不安に感じるものはない」(34.2%) が 3 割半ばとなっている。

Ⅲ 調査票様式

令和7年度 福島県政世論調査 調 査 票

1 復興等に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取組に関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報
- 2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 3 除染の進捗などの状況
- 4 復興へ向けた取組
- 5 安心して子育てできる環境づくりへの取組
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償に関する情報
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 廃炉に向けた取組や現状に関する情報
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に： _____）

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については、主に何で入手していますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 新聞
- 2 テレビ・ラジオのニュースなど
- 3 インターネット（行政以外のページ）
- 4 インターネット（県のホームページ・フェイスブック・エックスなど）
- 5 県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）
- 6 市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）
- 7 国の広報（テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど）
- 8 行政以外の印刷物
- 9 口コミ
- 10 その他（具体的に： _____）

問3 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

次のア～サについて、選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

【選択肢】

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 満足している | 4 満足していない |
| 2 どちらかといえば満足している | 5 見た(聴いた)ことがないのでわからない |
| 3 どちらかといえば満足していない | |

ア	広報誌	「つながる ふくしま ゆめだより」	1	2	3	4	5
イ	新聞	県政特集（福島民報・福島民友）	1	2	3	4	5
ウ	テレビ	「キビタンGO!」 （福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）	1	2	3	4	5
エ		「おしえてキビタン!」 （福島中央テレビ：毎週金曜日 20:54～20:57） （再放送 翌月曜日 11:25～11:30）	1	2	3	4	5
オ	ラジオ	「キビタンスマイル」 （ふくしまFM：毎週月～金曜日 17:30～17:35）	1	2	3	4	5
カ	インターネット	福島県ホームページ	1	2	3	4	5
キ		Facebook（フェイスブック） 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」	1	2	3	4	5
ク		Instagram（インスタグラム） 「ひとつ、ひとつ、実現するふくしま」	1	2	3	4	5
ケ		YouTube（ユーチューブ） 「福島県公式チャンネル」	1	2	3	4	5
コ		X（エックス）※旧 Twitter 「福島県公式 X」	1	2	3	4	5
サ		LINE（ライン） 「福島県公式 LINE」	1	2	3	4	5

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1 農産物や県産品の安全性	9 観光情報、来県の呼びかけ
2 被災者の生活状況、被災者の声	10 再生可能エネルギーやロボット産業 などにおける先進的な取組
3 復興に向けてがんばる県民の姿	11 県内外で開催される本県関係のイベ ント情報
4 農産物や県産品の魅力	12 福島県への移住に関する情報
5 除染の進捗状況	13 特にない
6 震災の被害及び復旧・復興の状況	14 その他（具体的に： ）
7 震災後の応援に対する感謝の気持ち	
8 放射線のモニタリング情報	

2 安全で安心な県づくりについて

福島県では、安全で安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんに「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問5 次のア～チの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。

選択肢 1～5 の中でそれぞれあてはまるもの 1つに○ をつけてください。

(注) 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。

- ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
- ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

【選択肢】

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 はい | 4 どちらかといえば「いいえ」 |
| 2 どちらかといえば「はい」 | 5 いいえ |
| 3 どちらともいえない・該当しない | |

ア	あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
イ	あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
ウ	あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5
エ	あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
オ	現在、あなたの暮らす地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。	1	2	3	4	5
カ	あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
キ	あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
ク	あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
ケ	あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
コ	あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5
サ	あなたは、日ごろ、放射線の影響が気になりますか。	1	2	3	4	5
シ	あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
ス	あなたは、「福島県防災アプリ」を活用していますか。	1	2	3	4	5
セ	あなたは、災害時の取るべき行動について考える「マイ避難」の取組を知っていますか。	1	2	3	4	5
ソ	「福島県防災アプリ」や「ふくしまマイ避難ノート」を活用するなどして、自分（自宅）の避難計画を作成していますか。	1	2	3	4	5
タ	あなたは、県民の生命を守るため、災害に強い県づくりを目指す「福島県防災基本条例」を知っていますか。	1	2	3	4	5
チ	あなたが暮らしている中で、消防団の活動や存在を身近に感じることはありますか。	1	2	3	4	5

3 福島県の総合計画について

福島県では、県が目指すふくしまの将来の姿や、その実現に向けた政策や施策を示した総合計画（県の行政運営上の最上位計画）を策定し、令和4年度から取組をスタートしています。

県民の皆さんの、計画の取組に関する考えをお伺いし、総合計画の進行管理や施策の見直しに活用してまいります。

問6 次のア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。

選択肢1～5の中でそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

（注）平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方は、設問文の「あなたの暮らす地域」については、以下により回答してください。

- ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
- ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

【選択肢】

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 はい | 4 どちらかといえば「いいえ」 |
| 2 どちらかといえば「はい」 | 5 いいえ |
| 3 どちらともいえない・該当しない | |

ア あなたは、ふくしまの将来の姿をまとめた「福島県総合計画」を見たこと、又は聞いたことがありますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、「福島県総合計画」の内容を知っていますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5
エ あなたは、福島県で子育てを行いたいと思いますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
オ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
カ あなたは、日ごろ、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの暮らす地域では、性別や年齢、国籍、障がいの有無など人々の多様性を理解した社会づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ク あなたの暮らす地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、福島県の震災・原発事故からの復興・再生が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

サ	県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いますか。	1	2	3	4	5
シ	あなたは、今暮らしている地域が住みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
ス	あなたの暮らす地域では、身近なところで、必要な医療を受けることができますか。	1	2	3	4	5
セ	あなたの暮らす地域では、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができますか。	1	2	3	4	5
ソ	あなたは、福島県の豊かな自然や美しい景観が保全され、野生鳥獣との共生が図られていると思いますか。	1	2	3	4	5
タ	(ソで「4」または「5」と回答した方にお尋ねします。) ソで「いいえ」と回答した理由について、あてはまるものに<u>いくつでも○</u>をつけてください。 1 福島県の豊かな自然が保全されていない 2 福島県の美しい景観が保全されていない 3 傷病鳥獣の保護や、有害鳥獣対策が十分ではない	1	2	3		
チ	あなたは、日ごろ、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5
ツ	あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。	1	2	3	4	5
テ	あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。	1	2	3	4	5
ト	県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ナ	あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ニ	あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー(太陽光など)を利用したいと思いますか(既に利用している人を含む)。	1	2	3	4	5
ヌ	あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5
ネ	あなたの暮らす地域では、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備されていますか。	1	2	3	4	5

4 福島イノベーション・コースト構想について

福島県では、福島イノベーション・コースト構想※を推進し、浜通り地域等の産業基盤の再生に取り組んでおります。各取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

※【参考】「福島イノベーション・コースト構想」とは

福島イノベーション・コースト構想(福島・国際研究産業都市構想)とは、東日本大震災と原子力災害によって大きな被害を受けた浜通り地域等の産業を回復するため、この地域を新たな産業が次々と生まれる場所にする 것을 目指し、平成26年にとりまとめられた国家プロジェクトです。

令和5年4月1日には、構想を更に発展させ、福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力や産業競争力の強化に貢献する、「創造的復興の中核拠点」として、福島国際研究教育機構(F-REI)が国によって浪江町に設立されました。

本構想を実現するために、以下の分野を中心に取り組んでいます。

・原子力発電所の廃炉に向けた取組

廃炉国際共同研究センター(富岡町)での研究開発、地元企業を廃炉産業へ参入しやすくするための取組など

・ロボット産業を集積・活性化する取組

福島ロボットテストフィールド(南相馬市)を活用したロボット・ドローン等の実証実験など

・新エネルギーの利用促進や、環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組

福島水素エネルギー研究フィールド(浪江町)での研究開発や環境負荷が低い製造技術の開発など

・農林水産業を再生するために新しい技術を活用する取組

自動運転トラクター、ドローンによる農薬散布などの先端技術を活用した農業など

・医療関連で利用できる技術開発支援や関連企業の集積を目指す取組

健康状態の分析・確認ができる衣類や介護現場の負担を軽減する機器の開発など

・航空宇宙産業の育成・集積に向けた取組

空飛ぶクルマの開発や宇宙での活用を想定した技術開発支援など

・子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組

ふたば未来学園中学校・高等学校(広野町)での教育活動、大学や地元企業等の力を借りた特色ある教育プログラムなど

・福島イノベーション・コースト構想の情報や原子力災害等の教訓等を広める取組

イベントやインターネット(ホームページ、SNSなど)での情報発信、ロボット、エネルギー、農林水産業などF-REIが行う5分野の研究開発の紹介、産学官の交流イベントや若者世代へのセミナーの開催、東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)の運営など

問7 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
- 2 福島ロボットテストフィールドの利活用促進など、ロボット産業を集積・活性化する取組
- 3 新エネルギーの利用促進や環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組
- 4 農林水産業を再生するために新しい技術を活用する取組
- 5 医療関連で利用できる技術開発支援や関連企業の集積を目指す取組
- 6 航空宇宙産業の育成・集積に向けた取組
- 7 将来的に福島イノベーション・コースト構想を支える、子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
- 8 東日本大震災・原子力災害伝承館等による原子力災害等の教訓等を広める取組
- 9 福島国際研究教育機構(F-REI)による研究開発や産業化、人材育成などの取組
- 10 特になし
- 11 その他(具体的に:)

問8 今後、福島イノベーション・コースト構想を進めていくために、県はどのような分野の取組を強化していけばよいと考えますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 原子力発電所の廃炉に向けた取組
- 2 福島ロボットテストフィールドの利活用促進など、ロボット産業を集積・活性化する取組
- 3 新エネルギーの利用促進や環境・リサイクル技術の確立、関連産業集積のための取組
- 4 農林水産業を再生するために新しい技術を活用する取組
- 5 医療関連で利用できる技術開発支援や関連企業の集積を目指す取組
- 6 航空宇宙産業の育成・集積に向けた取組
- 7 将来的に福島イノベーション・コースト構想を支える、子どもの教育や地域の働き手を育てるための取組
- 8 東日本大震災・原子力災害伝承館等による原子力災害等の教訓等を広める取組
- 9 福島国際研究教育機構（F-REI）による研究開発や産業化、人材育成などと連携した取組
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に： _____）

問9 今後、これらの取組をさらに進めるとともに、その効果がより地域の皆さんに届くようにするためには、どのような施策がよいと考えますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 新製品を生み出すための研究と生産技術の開発を進めること
- 2 企業を呼び込むための環境整備と広報を行うこと
- 3 地域企業の技術力や経営力を高めること
- 4 産学官（民間企業、大学などの教育機関、行政機関）や企業同士が連携すること
- 5 浜通り地域等での取組に関心のある人を呼び込むこと
- 6 人材の育成・確保（学生へ地元で働くことの魅力を伝える活動や専門知識を持つ人材の呼び込みなど）をすること
- 7 福島イノベーション・コースト構想についての情報を発信すること
- 8 福島国際研究教育機構（F-REI）と地域の産学官との広域的なネットワークを形成すること
- 9 特にない
- 10 その他（具体的に： _____）

5 県内のプロスポーツチームについて

福島県では、地域活性化を図るため、県内のプロスポーツチーム*と連携し、各種事業を展開しております。

県内のプロスポーツチームに対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

※ 県内のプロスポーツチーム

福島ユナイテッドＦＣ（サッカー）、いわきＦＣ（サッカー）、
福島レッドホープス（野球）、福島ファイヤーボンズ（バスケットボール）、
福島デンソーエアリービーズ（バレーボール）

問１０ 県内のプロスポーツチームについて伺います。

あてはまるもの１つに○をつけてください。

- 1 県内にプロスポーツチームがあることをまったく（全チーム）知らなかった
- 2 県内にプロスポーツチームがあることは知っている（一部のチームでも可）が、特に関心はない
- 3 県内のプロスポーツチームに関心はある（一部のチームでも可）が、ホームゲームを観戦したことはない→（問１１へ）
- 4 県内のプロスポーツチームに関心があり（一部のチームでも可）、ホームゲームを観戦したことがある→（問１２へ）

（問１０で「３」と回答した方にお尋ねします。）

問１１ 試合を現地で観戦しない理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 試合会場が遠い（交通アクセスが悪い）
- 2 いつ試合をやっているのかが、分からない
- 3 チケットが高い
- 4 チケットの入手方法など、調べるのが面倒
- 5 選手をよく知らない
- 6 時間がない
- 7 わざわざ観に行くほどの試合内容ではない（盛り上がらない）
- 8 子どもを連れて行くのが大変

（問１０で「４」と回答した方にお尋ねします。）

問１２ 試合を現地で観戦した理由を教えてください。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 家族や友人、知人に誘われた
- 2 テレビでチームに関する情報を目にして観戦したくなった
- 3 SNS や YouTube でチームに関する情報を目にして観戦したくなった
- 4 チームや選手と直接交流する機会があり観戦したくなった
- 5 会場で行われる試合以外のイベント（子ども向けイベントなど）が魅力的だった
- 6 応援したいチームがあった（できた）
- 7 周囲で話題になっていた
- 8 街中でポスターやチラシなどを見た
- 9 余暇時間を楽しむ場所を探していた
- 10 無料招待券や割引券を入手した

6 チャレンジふくしま県民運動について

福島県では、県民の皆さん一人一人が身近なところから心身の健康へ向けて取り組むことで、人も地域も笑顔で元気な福島の実現につなげる「チャレンジふくしま県民運動」を、平成28年度から展開しています。

健康づくりに対する県民の皆さんの意識や実践の現状を、今後の施策に役立ててまいります。

問13 「チャレンジふくしま県民運動」について、最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---|
| 1 知っている | |
| 2 聞いたことがある | |
| 3 名前を聞いたことがない | |
| 4 その他（具体的に： | ） |

問14 例えば、減塩、ウォーキング（ウォークビズ※含む）など軽い運動、サークル活動のような心身の健康づくりを最近行っていますか。
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「ウォークビズ」とは
健康づくりのため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務すること。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 実践している | } (問16へ) |
| 2 少しは実践している | |
| 3 実践していない | → (問15へ) |

(問14で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問15 健康づくりを実践していない理由について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 仕事や家事等で、実践する時間がない | 5 お金が掛かる |
| 2 興味のある取組がない | 6 健康づくりに興味・関心がない |
| 3 実践する場所・施設がない | 7 その他 |
| 4 健康づくりに関する情報がない | (具体的に：) |

(全員にお尋ねします。)

問16 あなたは、この1年間にどの程度の頻度で運動（ウォーキング等の軽い運動含む）やスポーツを実施されましたか。
最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------|------------|
| 1 週に5日以上 | 5 月に1～3日 |
| 2 週に3日以上 | 6 3か月に1～2日 |
| 3 週に2日以上 | 7 年に1～3日 |
| 4 週に1日以上 | 8 実施していない |

7 自転車の安全利用について

福島県では、自転車の安全で適正な利用を促進し、歩行者、自転車及び自動車等が共に安全に通行し、県民が安全に安心して暮らすことができる社会を実現するため、令和3年10月に「福島県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「自転車条例」といいます）」を制定いたしました。

県民の皆様の自転車の利用状況等をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問17 あなたは、普段の生活で自転車をどのくらい利用していますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 ほぼ毎日（週に4～7日）利用している	} (問18・問19へ)
2 週に2、3日程度利用している	
3 週に1日程度利用している	
4 月に1日程度利用している	
5 年に数日程度利用している	
6 利用していない	→ (問21へ)

(問17で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問18 令和4年4月1日から自転車条例により自転車損害賠償責任保険等※（以下「自転車保険」といいます）への加入が義務化されましたが、あなたは、自転車保険に加入していますか（自転車専用の保険だけでなく、自動車任意保険や火災保険等で補償される場合も含みます）。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

※【参考】「自転車損害賠償責任保険等」とは 自転車の運行によって他人の生命又は身体が害された場合における損害を填補することができる保険又は共済のことをいいます。	
1 加入している	
2 加入していない	
3 わからない	

(問17で「1」～「5」と回答した方にお尋ねします。)

問19 あなたは、自転車に乗るときに、ヘルメットを着用していますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 いつも着用している	} (問21へ)
2 ときどき着用している	
3 着用していない	→ (問20へ)

(問19で「3」と回答した方にお尋ねします。)

問20 あなたがヘルメットを着用しない理由を教えてください。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1 値段が高いから	6 特に危険を感じないから
2 見た目が悪いから	7 ヘルメットの着用で怪我を防げるのか疑問だから
3 重い、蒸れるなど不快だから	8 その他
4 髪型が崩れるのが嫌だから	(具体的に：)
5 移動先での保管・持ち運びが面倒だから	

(全員にお尋ねします。)

問 2 1 あなたは、道路交通法が改正され、令和 5 年 4 月 1 日から全ての自転車利用者の方を対象にヘルメットの着用が努力義務化されたことを知っていますか。
あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

- | | | |
|---|-------|-------------|
| 1 | 知っている | → (問 2 2 へ) |
| 2 | 知らない | → (問 2 3 へ) |

(問 2 1 で「1」と回答した方にお尋ねします。)

問 2 2 あなたは、自転車ヘルメットの着用が努力義務化されたことを何で知りましたか。
あてはまるものに いくつでも○ をつけてください。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 県・市町村の広報誌 | 6 新聞 |
| 2 県・市町村のホームページ | 7 テレビ・ラジオ |
| 3 県・市町村のチラシ・ポスター | 8 SNS |
| 4 保険会社のチラシ | 9 その他 |
| 5 自転車店の店頭 | (具体的に :) |

(全員にお尋ねします。)

問 2 3 自転車の交通安全に関して、危険を感じたことや日頃感じていることなどご意見がありましたらお聞かせください。

(自由記載)

※ 記入例 音楽を聴きながらの運転、傘さし運転、二台以上での並走等を危険に感じた
具体的に :

8 ユニバーサルデザインについて

福島県では、すべての人が安全・安心で快適に過ごすことのできる社会の形成を目指し、ユニバーサルデザイン※の考え方を推進しています。

県民の皆様の認知度及び県民の皆様の求める推進方法等をお伺いし、今後の各種施策に役立ててまいります。

※【参考】「ユニバーサルデザイン」とは

はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、安全で安心して利用しやすいように、建物、製品、環境などを計画、設計する考え方のことをいいます。

問24 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉について知っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている
- 2 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない
- 4 言葉自体知らない

問25 あなたは、日常で使う製品、身近な施設（官公共施設・病院・スーパー・駅舎・歩道など）、バスなどの乗り物について、10年前と比べて、誰もが使いやすくなっていると感じますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 ややそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 全くそう思わない

問 2 6 あなたが、県内で、ユニバーサルデザインの考え方を導入することが必要だと考えるのはどれですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 交通機関（バス、鉄道、タクシー）
- 2 道路
- 3 公共・公益施設
- 4 住宅
- 5 商業施設、商店街
- 6 製品開発
- 7 サービスや情報の提供
- 8 インターネットによるやりとりなどの情報技術
- 9 教育（共に学ぶ環境づくり）
- 10 防災、災害対策
- 11 人々の意識や、こころのあり方
- 12 その他（具体的に： _____）

問 2 7 あなたは、過去 1 年間に高齢者や障がいのある方、妊娠している方、幼い子どもを連れた方、外国の方等に対して、次のような気配りに取り組んだことがありますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 おもいやり駐車場に自動車等を止めない
- 2 点字ブロックの上や狭い通路に自転車等を止めない
- 3 エレベーターを車いすやベビーカー等の使用者に譲る
- 4 バリアフリースイレを障がいのある方や幼い子ども連れの方に譲る
- 5 電車やバスなどで高齢者や障がいのある方、幼い子ども、妊娠している方などに席を譲る
- 6 困っている高齢者や障がいのある方、外国人等を見かけた際に声をかける
- 7 他者に対して差別や中傷する発言をしない
- 8 取り組んだことはない
- 9 その他（具体的に： _____）

9 地域の医療について

福島県では、医療計画にもとづき、地域の医療提供体制の確保・充実のための取組を行っています。県民の皆さんに地域の医療についてどのように思っているか、どのように行動されているかをお伺いし、今後の医療施策に役立ててまいります。

問 2 8 あなたが、もし体調が悪くなり、医師にみてもらいたいときはどうしますか。
あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

- | | | |
|---|---------------------------|---|
| 1 | いつも決まってみてもらおう病院・診療所へ行く | |
| 2 | 身近な診療所（医院・クリニック）へ行く | |
| 3 | 大学病院や総合病院などのできるだけ大きな病院へ行く | |
| 4 | わからない | |
| 5 | その他（具体的に： | ） |

問 2 9 あなたには、日常的な体調不良やけがへの対応などを行ってくれる医師（かかりつけ医）がいますか。
あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

- | | | |
|---|------------------------|---|
| 1 | いる | |
| 2 | いない（病気をしない、または必要を感じない） | |
| 3 | いない（その都度都合の良い医師にかかる） | |
| 4 | いない（適当なかかりつけ医が身近にいない） | |
| 5 | いない（その他具体的に： | ） |

問 3 0 あなたは以下の医療関連サービス等を知っていますか。
知っているもの すべてに○ をつけてください。

- | | | |
|---|---------------------------|--|
| 1 | 福島県こども救急電話相談（#8000） | |
| 2 | 福島県救急電話相談（#7119） | |
| 3 | 福島県医療相談センター（024-522-4546） | |
| 4 | 福島県医療計画 | |
| 5 | 知っているものはない | |

問 3 1 あなたは、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手していますか。
あてはまるもの 3 つまで○ をつけてください。

- | | | | | |
|---|-----------|---|--------------------|---|
| 1 | 保健医療専門誌 | 6 | インターネット（医療情報ネット除く） | |
| 2 | 健康関連の本や雑誌 | 7 | 県や市町村の広報誌 | |
| 3 | テレビ | 8 | 友人・知人 | |
| 4 | ラジオ | 9 | その他 | |
| 5 | 医療情報ネット | | （具体的に： | ） |

問 3 2 あなたが知りたい保健や医療に関する情報は何か。
あてはまるもの 3 つまで ○をつけてください。

- | | | |
|----|-------------------------------|---|
| 1 | 病気の症状や予防・治療に関する情報 | |
| 2 | 診療科目ごとの医療機関の所在地や連絡先に関する情報 | |
| 3 | 医療機関の診療日・診療時間に関する情報 | |
| 4 | 医療機関の医療機器保有状況に関する情報 | |
| 5 | 医療機関が連携している医療施設や介護施設に関する情報 | |
| 6 | 薬の効能、副作用や服用方法に関する情報 | |
| 7 | 急病人やけが人に対する応急手当に関する情報 | |
| 8 | 訪問診療・看護やヘルパーなどの在宅ケアサービスに関する情報 | |
| 9 | リハビリテーションに関する情報 | |
| 10 | 特にない | |
| 11 | その他（具体的に： | ） |

10 キャッシュレス決済の利用状況について

福島県では、県内のキャッシュレス取引を促進させ、中小企業者等の経営力強化と消費者の利便性を図るため、各種事業を展開しております。

県民の皆様のキャッシュレス決済の利用状況をお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問 3 3 普段の生活で、キャッシュレス決済をどの程度利用していますか。
あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

- 1 ほとんどの支払いがキャッシュレス決済
- 2 現金払いもあるが、キャッシュレス決済のほうが多い
- 3 キャッシュレス決済と現金払いおおよそ半々
- 4 キャッシュレス決済も使うが、現金払いのほうが多い
- 5 現金払いのみ
- 6 その他（具体的に： _____）

問 3 4 利用しているキャッシュレス決済はどれですか。
あてはまるもの すべてに○ をつけてください。

- 1 クレジットカード
- 2 デビットカード
- 3 QRコード決済（P a y P a y、a u P A Y、d 払いなど）
- 4 WAON
- 5 n a n a c o
- 6 交通系電子マネー（S u i c a など）
- 7 キャッシュレス決済は利用しない
- 8 その他（具体的に： _____）

問 3 5 キャッシュレス決済を利用する理由は次のうちどれですか。
あてはまるもの すべてに○ をつけてください。

- 1 支払いが簡単、早い
- 2 現金を持ち歩かないで済む
- 3 キャンペーンやポイントなどの特典が得られる
- 4 現金に触れないため衛生的
- 5 急な出費でも対応できる
- 6 キャッシュレス決済は利用しない
- 7 その他（具体的に： _____）

問 3 6 店舗等でキャッシュレス決済が利用できないため、商品購入等をあきらめたことはありますか。
あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 キャッシュレス決済は利用しない

11 農林水産業について

福島県の農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

問37 普段、あなたが農林水産物を購入する際や食生活において、以下の行動のうち実践している又は実践したいと考えていることはありますか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 国産の食材を積極的に購入する
- 2 地元産の食材を積極的に購入する
- 3 一日の食事バランスを考えた食生活を実践する
- 4 食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす
- 5 環境に配慮して生産された農産物（有機農産物や特別栽培農産物※等）を積極的に購入する
- 6 食品の安全性について知識を持つ
- 7 その他（具体的に： _____）

※【参考】「有機農産物・特別栽培農産物」とは

どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。

有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの。特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量をこれまでより半分以下に減らして栽培されたもののこと。

問38 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。

あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 地域の人々が働き、生活する場
- 2 農林水産物など食料を生産する場
- 3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割
- 4 農林漁業の作業体験等を通じた学びの場
- 5 雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割
- 6 昔から伝わる伝統や文化を守っていく場
- 7 余暇やレジャーなどで滞在・体験する場
- 8 その他（具体的に： _____）

12 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱えている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問 3 9 現在あなたが住んでいる地域の治安は良いと思いますか。
あてはまるもの 1 つに○ をつけてください。

1 良い	}	(問 4 0 へ)
2 悪い		
3 変わらない	}	(問 4 1 へ)
4 わからない		

(問 3 9 で「1」又は「2」とお答えの方にお尋ねします。)

問 4 0 問 3 9 で治安が「良い」又は「悪い」と思う理由は何ですか。
どちらかの枠の中から、あてはまるもの 3 つまで○ をつけてください。

【良いと思った方】

【悪いと思った方】



※両方の枠を選ぶことはできません。



1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない
2 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿をよく見かける
3 パトカーや警察官の姿をよく見かける
4 隣近所とのコミュニケーションが図られている
5 犯罪発生やニュース等を聞かなくなった
6 地域住民の防犯意識が高まった
7 その他（具体的に： ）

8 犯罪の被害に遭った人が身近にいる
9 町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿をあまり見かけない
10 パトカーや警察官の姿をあまり見かけない
11 隣近所とのコミュニケーションが図られていない
12 犯罪発生やニュース等をよく聞くようになった
13 地域住民の防犯意識が希薄になった
14 その他（具体的に： ）

(全員にお尋ねします。)

問 4 1 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。
あてはまるもの 3 つまで○ をつけてください。

1 各種防犯研修会の開催	6 ラジオ放送による広報
2 警察官の訪問による具体的な助言活動	7 新聞への定期的な掲載
3 防犯広報紙の配布	8 携帯端末等へのメール配信
4 県警察ホームページへの掲載	9 アプリによる情報発信
5 テレビ放映による広報	10 わからない
	11 その他 (具体的に：)

問 4 2 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

1	自分の住んでいる地域の犯罪情報	7	多発している犯罪の手口や傾向
2	市町村単位の犯罪情報	8	なりすまし詐欺に関する情報
3	福島県全体の犯罪情報	9	来日外国人の犯罪情報
4	全国の犯罪傾向	10	インターネットに関する犯罪情報
5	学校や保育施設周辺の犯罪情報	11	防犯設備・防犯グッズ等の情報
6	少年非行の現状	12	その他（具体的に： ）

問 4 3 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと
考えますか。
あてはまるもの**3つまで**○をつけてください。

1	犯罪の検挙活動	8	犯罪・事故被害者に対する支援
2	犯罪の抑止活動	9	事件・事故に関する情報発信
3	パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。)	10	警察安全相談の充実
4	巡回連絡(家庭等の訪問活動)	11	意見・要望への的確な対応
5	緊急事案に対する迅速な対応	12	防犯・交通ボランティア等の結成、 活動への支援
6	交通違反の取締り活動	13	特になし
7	交通事故の抑止活動	14	その他(具体的に：)

問 4 4 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
- 2 空き巣、車上ねらい、自動車盗及び自転車盗などの窃盗犯罪
- 3 こどもに対する声掛けやいたずら
- 4 不同意性交、不同意わいせつ、痴漢等の性的犯罪
- 5 高齢者を狙ったなりすまし詐欺
- 6 少年犯罪
- 7 児童買春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪
- 8 DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪、児童・高齢者・障がい者虐待
- 9 ヤミ金融事犯や悪質商法
- 10 インターネットを利用したサイバー犯罪
- 11 ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通法令違反
- 12 暴力団等による組織犯罪
- 13 外国人犯罪グループによる犯罪
- 14 公務員等による汚職事件
- 15 覚醒剤、大麻及び麻薬の乱用、売買などの薬物犯罪
- 16 不法投棄などの環境犯罪
- 17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
- 18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
- 19 特にない
- 20 その他（具体的に：

問 4 5 震災から 1 4 年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの 3 つまで○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 夜の町を歩くのが怖くなった |
| 2 | けんか、暴力沙汰を見かけるようになった |
| 3 | 身近に交通事故の発生がある |
| 4 | 交通流の変化、渋滞などを目にするようになった |
| 5 | 身近に廃棄物等の不法投棄がある |
| 6 | 復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする |
| 7 | なりすまし詐欺に不安を感じる |
| 8 | 特に不安に感じるものはない |
| 9 | その他（具体的に： _____） |

～ あなたご自身についてお答えください ～

Q 1 あなたの性別（自認する性）をお知らせください。

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

Q 2 あなたの満年齢をお知らせください。（令和 7 年 7 月 1 日現在）

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1 15～19 歳 | 5 35～39 歳 | 9 55～59 歳 |
| 2 20～24 歳 | 6 40～44 歳 | 10 60～64 歳 |
| 3 25～29 歳 | 7 45～49 歳 | 11 65～69 歳 |
| 4 30～34 歳 | 8 50～54 歳 | 12 70 歳以上 |

Q 3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。
なお、複数の職業をお持ちの方は、主とするもの 1 つに○をつけてください

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者） |
| 2 | 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者） |
| 3 | 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者） |
| 4 | 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上） |
| 5 | 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など） |
| 6 | 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など） |
| 7 | パートタイマー・アルバイト・フリーター・派遣・嘱託など |
| 8 | 専業主婦・主夫 |
| 9 | 学生・生徒 |
| 10 | 無職 |
| 11 | その他（具体的に： _____） |

Q 4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

（震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名）

（市・町・村）

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。

※同封の返信用封筒に入れ、令和 7 年 7 月 9 日（水）までに切手を貼らずに投函願います。

IV 過去に実施した県政世論調査項目一覧

令和6年度（12項目44問） 標本数 2,000 回収率 62.9%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の新しい総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) 県内のプロスポーツチームについて
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) エシカル消費（倫理的消費）について
- (8) 自転車の安全利用について
- (9) 地域の医療について
- (10) ロボット・ドローンの活用について
- (11) 農林水産業について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和5年度（12項目44問） 標本数 2,000 回収率 56.8%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の新しい総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) チャレンジふくしま県民運動について
- (6) 水に関する意識について
- (7) 生物多様性について
- (8) エシカル消費（倫理的消費）について
- (9) 自転車の安全利用について
- (10) 買い物環境について
- (11) 農林水産業について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和4年度（12項目49問） 標本数 2,000 回収率 64.4%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の新しい総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) チャレンジふくしま県民運動について
- (6) 水に関する意識について
- (7) 生物多様性について
- (8) エシカル消費（倫理的消費）について
- (9) 自転車の安全利用について
- (10) 少子化対策について
- (11) 農林水産業について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和3年度（10項目37問） 標本数 2,000 回収率 65.2%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 福島県の新しい総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) チャレンジふくしま県民運動について
- (6) ユニバーサルデザインについて
- (7) 自転車の安全利用について
- (8) 食育について
- (9) 農林水産業について
- (10) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和2年度（12項目29問） 標本数 1,300 回収率 64.5%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) キャッシュレス決済サービスの利用について
- (3) 安全で安心な県づくりについて
- (4) 県総合計画について
- (5) 福島イノベーション・コースト構想について
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) 水環境について
- (8) ごみ対策について
- (9) 食育について
- (10) 農林水産業について
- (11) 福島県総合教育計画について
- (12) 地域社会の安全・安心（治安）について

令和元年度（１１項目３２問） 標本数 1,300 回収率 47.5%

- (1) 復興等に関する情報発信について
- (2) 安全で安心な県づくりについて
- (3) 県総合計画について
- (4) 福島イノベーション・コースト構想について
- (5) 土地利用について
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) 生涯学習について
- (8) 生物多様性について
- (9) ユニバーサルデザインについて
- (10) 農林水産業について
- (11) 地域社会の安全・安心（治安）について

平成３０年度（１１項目２７問） 標本数 1,300 回収率 49.1%

- (1) 福島イノベーション・コースト構想について
- (2) 復興に関する情報発信について
- (3) チャレンジふくしま県民運動について
- (4) ユニバーサルデザインについて
- (5) 農林水産業について
- (6) 水に関する意識について
- (7) 水道水の放射線物質検査について
- (8) 公共交通について
- (9) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (10) 安全で安心な県づくりについて
- (11) 県総合計画について

平成２９年度（９項目２６問） 標本数 1,300 回収率 54.7%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 福島イノベーション・コースト構想について
- (3) 買い物環境について
- (4) 水に関する意識について
- (5) 農林水産業について
- (6) チャレンジふくしま県民運動について
- (7) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (8) 安全で安心な県づくりについて
- (9) 県総合計画について

平成28年度（7項目26問） 標本数 1,300 回収率 54.3%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 農林水産業について
- (3) 生物多様性について
- (4) 高校教育について
- (5) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (6) 安全で安心な県づくりについて
- (7) 県総合計画について

平成27年度（8項目28問） 標本数 1,300 回収率 54.8%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 青少年の健全育成について
- (4) ユニバーサルデザインについて
- (5) 農林水産業について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成26年度（8項目28問） 標本数 1,300 回収率 57.0%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 食育について
- (4) 農林水産業について
- (5) 廃棄物対策について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成25年度（8項目24問） 標本数 1,300 回収率 61.8%

- (1) 復興に関する情報発信について
- (2) 心の健康について
- (3) 救急医療について
- (4) 農林水産業について
- (5) 生物多様性について
- (6) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて
- (8) 県総合計画について

平成24年度（9項目33問） 標本数 1,300 回収率 60.7%

- (1) 環境について
- (2) 水に関する意識について
- (3) 子育て支援策について
- (4) 青少年の健全育成について
- (5) ユニバーサルデザインについて
- (6) ジェネリック医薬品（後発医薬品）について
- (7) 地域社会の安全・安心（治安）について
- (8) 安全で安心な県づくりについて
- (9) 県総合計画について

平成23年度（7項目24問） 標本数 1,300 回収率 63.4%

- (1) 震災時及び現在における情報収集について
- (2) 男女共同参画の視点からの災害対応について
- (3) 心の健康について
- (4) 震災後の商業環境について
- (5) 芸術文化・スポーツ活動について
- (6) 震災後の県内の安全・安心（治安）について
- (7) 安全で安心な県づくりについて

平成22年度（8項目30問） 標本数 1,300 回収率 60.8%

- (1) 福島県農林水産物の消費拡大について
- (2) 地域社会の安全・安心について
- (3) 生活習慣病予防対策について
- (4) 水について
- (5) 生物多様性について
- (6) 廃棄物対策について
- (7) 福島県総合計画について
- (8) 安全で安心な県づくりについて

平成21年度（7項目30問） 標本数 1,300 回収率 65.1%

- (1) 福島県の農業・農村の振興について
- (2) 地域社会の安全・安心について
- (3) 食育について
- (4) 環境について
- (5) 青少年の健全育成について
- (6) 土地利用について
- (7) 福島県の新しい総合計画について

平成20年度（5項目28問） 標本数 1,300 回収率 64.2%

- (1) 安心・安全な県産農産物の生産拡大について
- (2) 地域社会の安全、安心について
- (3) 保健福祉関連事業について
- (4) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について
- (5) ユニバーサルデザインについて

平成19年度（5項目23問） 標本数 1,300 回収率 61.8%

- (1) 「ふくしま食と農の絆づくり運動」について
- (2) 警察活動について
- (3) 「がん」に関する意識について
- (4) 県庁の組織名及び職名について
- (5) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成18年度（6項目21問） 標本数 1,300 回収率 58.5%

- (1) 犯罪に関する意識について
- (2) 化学物質について
- (3) 有機農産物に対する認知度と消費動向について
- (4) 食育について
- (5) “うつくしま、ふくしま。”県民運動について
- (6) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成17年度（6項目24問） 標本数 1,300 回収率 59.3%

- (1) 森林と県民生活について
- (2) 水について
- (3) 電子社会の推進と現状について
- (4) 運動・スポーツに関する実態について
- (5) ユニバーサルデザインについて
- (6) 福島県新長期総合計画「うつくしま21」について

平成16年度（5項目27問） 標本数 1,300 回収率 61.8%

- (1) 安全に安心して暮らせる地域社会について
- (2) 地域温暖化防止のためのエコライフについて
- (3) 心の健康について
- (4) 文化に関する意識について
- (5) “うつくしま、ふくしま。”県民運動について

平成15年度（5項目34問） 標本数 1,300 回収率 62.2%

- (1) お米の消費実態と福島米への要望について
- (2) 交通安全教育について
- (3) 環境保全への取り組みについて
- (4) エネルギー政策について
- (5) 県政への要望について

平成14年度（4項目30問） 標本数 1,000 回収率 60.5%

- (1) 地産地消について
- (2) IT革命の現状と課題について
- (3) ボランティア活動について
- (4) 食品の安全確保について

平成13年度（6項目33問） 標本数 1,000 回収率 58.0%

- (1) ユニバーサルデザインについて
- (2) “うつくしま、ふくしま。”県民運動について
- (3) 環境保全について
- (4) 県民生活と森林づくり運動について
- (5) 新エネルギーについて
- (6) 人権問題について

平成12年度（4項目31問） 標本数 1,000 回収率 62.2%

- (1) 行政情報化について
- (2) 魅力ある観光地づくりについて
- (3) うつくしま未来博について
- (4) 運動・スポーツについて

平成11年度（6項目34問） 標本数 1,000 回収率 64.4%

- (1) 福島県の教育について
- (2) 高齢社会について
- (3) 住民参加について
- (4) 行財政改革について
- (5) 土地利用について
- (6) 県への要望について

平成10年度（6項目33問） 標本数 1,000 回収率 66.9%

- (1) 子育てについて
- (2) 生涯学習について
- (3) 安全な生活について
- (4) 魅力ある観光地づくりについて
- (5) 地方分権について
- (6) 県への要望について

令和7年度

県政世論調査

結果報告書

〈概要版〉

福島県 総務部 県民広聴室

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話（024）521-7013